

JICA 関係者限定資料

# コロンビア

## 任国情報

1997年

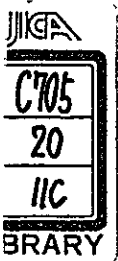
JICA LIBRARY



J 1139408 [7]

国際協力事業団

国際協力総合研修所





はしがき

この任国情報は国際協力のために赴任される専門家およびJICA役職員等に、任国での生活上必要な事項についての情報を提供するものです。

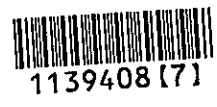
本書の刊行にあたっては当該国に派遣中の専門家等、JICA関係者の皆様より多大な御協力を得ました。また、外務省、在外公館、その他関係機関の御好意により、貴重な資料の一部を利用させていただきました。

今後も本書の内容を一層充実させ、常に新しい情報の提供に努めたいと考えております。

本書が国際協力の分野で活躍される方々の参考となれば幸いです。

なお、本書に記載された内容は、当該国に派遣中の専門家等、JICA関係者の皆様の執筆を中心にまとめたものであり、国際協力事業団の意見を代表するものではないことを付記いたします。

平成10年1月  
国際協力事業団  
国際協力総合研修所長



1139408 [7]

# 目次

I	概況	i
II	生活事情	1
1.	食生活	1
2.	衣料	5
3.	住宅	6
4.	医療	12
5.	教育	16
6.	家庭の使用人	19
7.	交通事情	21
8.	通信	25
9.	マスコミ	27
10.	教養、娯楽、趣味、スポーツ	28
11.	その他のサービス	35
12.	観光	36
13.	治安、緊急時の心得	38
14.	出入国手続および帰国手続	42
15.	私財の輸送、引き取り、購入	44
16.	社交	46
17.	任国官公庁	47
18.	在外日本関係機関など	48
19.	地方都市	49



表-1：コロンビア概況

正式国名	(和文) コロンビア共和国 (英文) Republic of Colombia
独立年月日	1810年7月20日
旧宗主国	スペイン
政 体	立憲共和制
元首の名称	エルネスト・サンペール大統領(Ernesto Samper) (1994年8月就任、任期4年)
位置・面積	北緯12度30分～南緯4度13分 西経67度～78度 ・1,139千平方キロメートル(注1)
首 都	サンタ・フェ・デ・ボゴタ
総人口	36.3百万人 (1994年) (注1)
民族等	混血 (75%)、ヨーロッパ人 (20%)、黒人 (4%)、インディオ (1%)
公用語	スペイン語
宗 教	カトリック
暦	<p>&lt;日本との時差&gt;-14時間</p> <p>&lt;祝祭日&gt; (1997年) (注2)</p> <p>1月1日 新年</p> <p>6日 東方三賢人の日</p> <p>3月24日 聖ヨセフ祭</p> <p>3月27日 洗足聖木曜日</p> <p>28日 聖金曜日</p> <p>5月1日 メーデー</p> <p>12日 キリスト昇天祭</p> <p>6月2日 キリスト聖体節</p> <p>6月30日 聖ペドロ祭</p> <p>7月20日 独立記念日</p> <p>8月7日 ボヤカ戦勝記念日</p> <p>18日 聖母被昇天祭</p> <p>10月13日 アメリカ大陸発見記念日</p> <p>11月3日 万聖節</p> <p>17日 カルタヘナ独立記念日</p> <p>12月8日 無原罪懐胎の日</p> <p>25日 クリスマス</p>

出所 (注1) World Development Report 1996 The World Bank

(注2) The Europa World Yearbook 1996 Europa Publications

## (1) 国土の概要

コロンビアは南米大陸の北端に位置し、西は太平洋、北はカリブ海に面している。国境は、東にベネズエラ、ブラジル、南にペルー、エクアドルと接しており、また、パナマ地峡で中米へとつながる要衝地である。

北緯12度30分から赤道を経て、南緯4度13分、西経67度から78度に位置し、面積1,139千平方キロメートルは、日本の約3倍、中南米で4番目の広さである。東方の約3分の2は未開地域であり、生活空間は西方の約3分の1に集中している。

南米大陸の太平洋岸を縦走するアンデス山脈が、コロンビアで東部、中央、西部の3つの山系に分かれ、それぞれに3,000メートル級の山脈を形成している。国土の40%は高地で、盆地が随所に存在し、地域が分割されている。このため、陸上交通の発達が悪い。山岳地帯の東側には平原が開け、さらに東の草原や、アマゾン川流域の熱帯雨林につながっている。河川もカリブ海岸、太平洋岸、及び東部のオリノコ川・アマゾン川水系に分かれる。カリブ海にそそぐマグダレナ川は、長さ1,550キロメートルのコロンビア第1の河川で、中流まで汽船の航行が可能となっており、古来重要な交通路である（以上数値はAPIC資料、1992）。

### (参考文献)

【中南米での暮らし コロンビア】 1982 国際協力サービス・センター

【コロンビアの経済社会の現状】 1992 国際協力推進協会

【世界各国要覧】 1993 東京書籍

The Europa World Yearbook 1995 Europa Publications

## (2) 気候

赤道直下に位置しているが、地形的条件や標高差により気候は4つに分かれる。平野部及び海岸地帯は平均気温26～28℃で高温多湿の熱帯性気候、標高1,000～1,500メートルの地帯は20℃前後の亜熱帯性気候、2,000メートルを超えると常春の気候となるが、3,000メートルを超すと一日の気温差が大きく、夜は肌寒い。海拔2,600メートルのポコタ周辺では平均気温14.5℃で、年較差も僅か1.1℃、穏和ながらも四季の変化に乏しい。

降雨量も地域により異なる。カリブ海沿岸の年平均降雨量は1,100ミリ程度であり、太平洋岸の熱帯雨林地域は5,000から12,000ミリにも達する。東部平原地域は1,500ミリ程度で、12月から3月は乾季となっている（以上数値はAPIC資料、1992）。

### (参考文献)

【中南米での暮らし コロンビア】 1982 国際協力サービス・センター

【コロンビアの経済社会の現状】 1992 国際協力推進協会

【世界各国要覧】 1993 東京書籍

The Europa World Yearbook 1995 Europa Publications



### (3) 人口

1994 年におけるコロンビアの総人口は 3,630 万人、年平均人口増加率 1.9% (1990～94) で、都市人口は 72% に達する (世銀資料、1996)。

主要都市の人口は以下の通り (93 年 9 月現在)。

サンタ・フェ・デ・ボゴタ	500 万 7900 人	メデジン	221 万 4600 人
カリ	167 万 8900 人	バランキージャ	127 万 0000 人
カルタヘナ	65 万 8800 人	ブカラマンガ	65 万 1700 人
ククタ	53 万 8400 人	ペレイラ	41 万 6400 人
マニザレス	32 万 4400 人		

(数値は EIU 資料、1995)

(参考文献) Country Profile: Colombia 1994-95 1995 EIU  
World Development Report 1996 The World Bank

### (4) 略史

表-2 : コロンビア略年表

年	出来事
1525年	サンタ・マルタにスペインが植民地建設。
1718年	スペイン副王がボゴタにて統治。
1810年	独立宣言。
1819年	大コロンビア共和国誕生。
1830年	ヴェネズエラ分離。
1831年	エクアドル分離。
1903年	パナマ分離。
1952年	二大政党間の抗争激化、死者10万人。
1953年	無血クーデター、ロハス将軍が大統領に就任。
1989年	麻薬マフィアとの抗争激化。
1990年	5月 大統領選挙で自由党のガビリアが当選。
	12月 制憲議会発足。
1991年	首都名を従来のボゴタからサンタ・フェ・ボゴタに改称。
	7月 新憲法を公布。
	10月 新憲法下で初の総選挙が行われ、自由党が上・下両院で勝利を収めた。
1994年	6月 ガビリア大統領の任期切れに伴う大統領選挙。
	8月 エルネスト・サンペール大統領就任。

出所 『経済技術協力国別資料 (援助地図)』 1989 国際協力事業団  
『世界現勢 1995』 1995 平凡社  
『世界週報』 7.12 号 1994 時事通信社

## (5) 民族等

人種構成は白人 20%、黒人 4%、先住民インディオ 1%、混血 75% (うちメスティソ 58%、ムラート 14%、サンボ 3%) で (平凡社資料 1995)、スペインによる征服と 300 年に及ぶ植民地化の歴史を反映して混血度がきわめて高い。従来、白人及びメスティソはアンデス山系の高原・盆地に多く居住し、本質的に堅実な山岳民族としての気質を持ち、比較的穏健でありながらも閉鎖的である。黒人及びムラートは、カリブ沿岸低地と太平洋岸に多く居住し、多分に開放的かつ楽天的である。先住民インディオは南部山地に主として集中していた。しかし、都市化の進展とともに住民の移動も進み、現在、都市部では各人種が混在している。その反面、社会的には人種による階層分化が依然として存在している。

社会の上層部を占めているのは白人とメスティソの一部で、下層の大部分は黒人、先住民インディオ、混血で構成され、貧富の差は大きい。

### (参考文献)

- 『ラテン・アメリカを知る事典』 1990 平凡社
- 『コロンビアの経済社会の現状』 1992 国際協力推進協会
- 『世界現勢 1995』 1995 平凡社

## (6) 言語

公用語はスペイン語である。コロンビアのスペイン語は、他のラテン・アメリカ諸国と比べてスペイン本国のスペイン語に最も近いといわれている。しかし、グワピラ地方など、少数のインディオはまだ固有の言語を保持しており、スペイン語を解さない者も残っている。最も普及している外国語は英語とフランス語である。

### (参考文献)

- 『中南米での暮らし コロンビア』 1982 国際協力サービス・センター
- 『ラテン・アメリカ事典』 1989 ラテン・アメリカ協会

## (7) 宗教

憲法の規定により信仰の自由は保証されているが、国民の 95% はローマ・カトリック教徒で、ラテン・アメリカでも最も敬虔なカトリック国とされている。カーニバル等のカトリックに因んだ祭り、行事などもあるが、地方によってかなり異なる。なお、カトリック以外には、プロテスタント及びユダヤ教徒が少数存在する (数値は平凡社資料、1990)。

### (参考文献)

- 『中南米での暮らし コロンビア』 1982 国際協力サービス・センター
- 『ラテン・アメリカ事典』 1989 ラテン・アメリカ協会
- 『ラテン・アメリカを知る事典』 1990 平凡社

## (8) 文化

コロンビア先住民の文化はインカ文明の影響を受けているが、中心地であったペルーからは辺境に位置し、今日見られる影響は希薄である。独立以降スペイン以外の外国との接触が少なかったことから、文芸・学術にはスペインの影響が色濃く残っている。全体的に見ると、スペイン的文化が先住民文化やアフリカ伝来の要素を融合して新大陸的な風土で発展した文化であり、スペイン・カトリック的な要素も強い。しかし、庶民レベル、特に風俗や音楽についていえば、アンデスの山間部では先住民インディオの伝統、カリブ沿岸地方では黒人系アフロ・カリブの影響が顕著である。

個人的な性向が強く、詳細な計画よりは大枠なガイドラインを好む国民性を持ち、基本的な理念や考え方については雄弁な論客が多い。また、下から上への改革という民主的風潮や平等社会を目指す大衆願望、拝金主義なども一般的傾向として認められる。その一方で、地形的な条件から各地域が孤立的に発展してきたこともあり、政治的にも経済的にも分離された地域集団が形成されており、文化面での地域差も大きい。また、白人、黒人、混血など人種間でも気質的差異が認められる。

### (参考文献)

- 【中南米での暮らし コロンビア】 1982 国際協力サービス・センター
- 【ラテン・アメリカを知る事典】 1990 平凡社
- 【コロンビアの経済社会の現状】 1992 国際協力推進協会
- 【世界現勢 1995】 1995 平凡社

## (9) マス・メディア

### 1) 新聞

全国紙は5紙以上あり、その他に30余りの地方紙がある（EIU資料、1995）。また、New York TimesやMiami Herald等が街頭売りされている。

代表的な新聞社と発行部数は、以下の通りである（すべて全国紙）。

・El Tiempo（自由党系）	発行部数	平日：20万部、休日：35万部
・El Espectador（自由党系）	発行部数	21万5千部
・El Espacio	発行部数	16万5千部
・El Nuevo Siglo（保守党系）	発行部数	6万8千部
・La Republica	発行部数	3万部

他に、全国紙としては、La Prensa（保守党系）、地方紙には、El Heraldo、Diariodel Caribe等がある（数値はEuropa Publications資料、1995）。

### (参考文献)

- 【コロンビアの経済社会の現状】 1992 国際協力推進協会
- Country Profile:Columbia 1994-95 1995 EIU
- The Europa World Yearbook 1995 Europa Publications

## 2) 放送

1992年の時点でラジオ 590万台、テレビ 390万台が使用されていると推定される (Europa Publications 資料、1995)。国内には約 500 のラジオ局と約 100 のテレビ局が存在するが、施設の水準は高くない (APIC 資料、1992)。

ラジオ局については、国営のほかに民間放送局も存在しており、ボゴタには 30 の民間放送局がある (Europa Publications 資料、1995)。ほとんどの局が ASOMEDIOS (Asociacion Nacional de Medios de Comunicacion) に属している。

テレビは国営放送 (INRAVISION: Instituto Nacional de Radio y Television) の独占状態にある。INRAVISION は一般放送を 2 チャンネルと教育放送を 1 チャンネル有しており、放送時間帯を民間のプロダクションに提供している (数値は Europa Publications 資料、1995)。国内のテレビ放送は国営放送だけであるが、一般的にはアメリカの衛星放送などが傍受されており、実質的なチャンネル数は多く、情報は多様性に富んでいる。

### (参考文献)

【コロンビアの経済社会の現状】 1992 国際協力推進協会  
The Europa World Yearbook 1995 Europa Publications  
Country Profile: Columbia 1994-95 1995 EIU

表-3：経済指標 [コロンビア]

主要経済指標 の推移	年	( 1992 )	( 1993 )	( 1994 )
GDP (百万ペソ) (注1)		33,144	41,932	N.A.
一人当たりGNP (ドル) (注2)		1,330	1,400	1,670
実質GDP成長率 (%) (注1)		3.8	5.3	N.A.
消費者物価上昇率 (%) (注1)		27.0	22.6	23.8
失業率 (%) *1*2 (注3)		9.8	7.8	7.9
貿易収支 (百万ドル)		1,233	N.A.	N.A.
輸出額(fob)		7,263	N.A.	N.A.
輸入額(fob) (注1)		6,030	N.A.	N.A.
主要輸出入相手国 (注4)		輸出 (1995年)	米国 (32.8%)	
		輸入 (1995年)	米国 (36.6%)	
経常収支 (百万ドル) (注1)		912	N.A.	N.A.
対外債務残高 (百万ドル) (注5)		17,197	17,177	19,416
債務返済比率 (%) (注5)		36.4	29.3	29.8
外貨準備高 (百万ドル) (注2)		7,551	7,670	7,862
通貨 (1996年9月30日) (注6)	通貨単位：コロンビア・ペソ (C o l \$)	1ドル = 1,027.68 C o l \$		
会計年度	1月1日～12月31日			

注) \*1：ボゴタ、バランキージャ、カリ、メデジン、ブカラマンガ、マンサレス、パストの7都市の数値。

\*2：経済活動人口の割合における失業者数。

出所 (注1) International Financial Statistics Yearbook 1995 IMF

(注2) World Development Report 1994-1996 The World Bank

(注3) Country Profile:Colombia 1995-96 1996 EIU

(注4) Country Report:Colombia 3rd quarter 1996 EIU

(注5) World Debt Tables 1996 1996 The World Bank

(注6) 『各通貨の為替相場一覧表』 1996 東京三菱銀行



## II 生活事情

### 1. 食生活

#### 1-1 食料

##### (1) 一般事情

日本食に特にこだわる人には不自由な環境であるが、一般的に材料は日本より安く、常時、野菜、果物、穀類等が出回っている。魚と鶏肉は日本より少し高いが、ほかの肉類は比較的安い。肉の種類や部分の名前を覚えることが必要である。

また、加工、半加工食品、インスタント食品も輸入・国産品が出回っている。

##### (2) 主な食料の出回り状況

スーパーマーケットでは主な食料品は常時入手でき、週末によく開かれる露店市でも調味料、酒類、パンなどを除き、ほぼ全ての生鮮食品が入手できる。

##### (3) 食料の入手

大・中都市のスーパーマーケットでは定価販売であるが、一般小売店では一見の客には値をつりあげる場合がある。牛乳には全乳のほかダイエット用がある。野菜、果物、魚、酒類等は各種、豊富に入手できる。

##### < 日本料理、魚介類 >

サンタフェ・デ・ボゴタ市（以下、ボゴタと略す）には、『京都』という日本食料品店がある。割高ではあるが、カリフォルニア米、醤油、みそ、豆腐、わかめ、昆布、ごま、小豆、もち、のり、お茶などが揃っており、日本人の間では重宝されている。

豆腐は Pomona（ポモナ）というスーパーでも入手でき、醤油は Carulla（カルージャ）、Olympica（オリンピカ）などの大手スーパーでも売られている。

ボゴタは海から遠いが、鮮度のよい魚貝類が入手できる。漁船から冷凍したまま飛行便にて入荷されるため、海岸の暑い土地で生のまま放置された魚よりかえって新鮮である。

前述の『京都』では、種類は少ないがマグロ、サケ、タコ、イカといった刺し身の材料も販売されている。時折、サバやサンマも入荷される。また、日本料理店『初花』は各種の魚の入荷があると顧客に連絡し、販売している。日本人に喜ばれる山芋は、Costa（コスタ）地方ならどこでも入手でき、ボゴタではスーパーで売られている。小豆が売られていることもある。

##### < 珍しい食品 >

Panela（パネラ）と Platano（プラタノ）がある。プラタノは一見バナナそのものだが生食できない。この薄切りをから揚げにすると、酒やビールのつまみによい。パネラは粗糖を四角な塊にしたもので、削って使用する。甘辛の煮物やすき焼き、照り焼きに使用する。

##### < 野菜 >

スーパーでは、もやし、ニラ、マッシュルーム、白菜、大根、さつまいも、ショウガ、きゅうり、茄子、オクラ、かぼちゃ等が入手できる。週1回野菜を仕入れている日本食料品店では、このほか春菊、中国野菜が手に入ることもある。

##### < 飲料水、お菓子 >

コーラや飲料水は、宅配をして現金決済している地域が多い。ボゴタの北、車で40分ほどのところにある Briceno（ブリセーニョ）から右折し、5分ほどで着く Sopo（ソポ）という

小さな町に Alpina(アルピーナ) という乳製品会社がある。そこで販売しているシュークリームはおすすめの一品といえる。

## 1-2 食器、調理器具など

### (1) 食器、調理器具などの入手

当地製の圧力釜を入手することをすすめる。1個は炊飯用、1個は煮物用として2個揃えるとなおよい。ほとんどの都市が高地にあるため気圧が低く、米や豆などが煮えにくいからである。通常の食器や調理器具(たとえば冷蔵庫、ミキサー、オーブン、トースターなど)は入手できる。電子レンジも普及してきている。日本から100ボルト用の電気製品を持参する場合は、110~120ボルトを100ボルトに降圧する変圧器を必要とする。

### (2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具など

持参するとよい器具は、出刃・刺し身・菜切り包丁である。また、急須、すり鉢、菜箸、個人箸、粉ふるい、茶こし、客用小皿、刺し身皿、丼、茶碗、おわん、木綿ふきん、泡立て器、蒸し器のほか、和洋菓子(よい物がない)づくりの道具があればとても便利である。なお、材料として上新粉、抹茶も当地では入手できないので持参するとよい。

## 1-3 外食

### (1) 飲食店

小都市では夜遅くなると閉店、または品切れになることがあり、要注意である。

大都市には高級店から庶民的な店まで様々なレストランがある。ポゴタ、メデジン、カリなどでは外国料理のレストランもいろいろある。

日本食レストランは、ポゴタに集中している。

高級レストランや繁盛している店では、電話で予約を入れなければ待たされることがある。また、高級レストランの中には、ネクタイなしでは入れないところもあるので注意を要する。

庶民的なレストランであっても皿の出る順序は正式である。まずスープ。バナナやアボカドがついてくることもある。終わるのをみはからって、Seco(セコ)と呼ばれる主食が出る。通常ひとつの皿におかずと米飯またはじゃがいもが入っている。サラダは別皿で出る場合もあるが、高級レストランでは自分で選べることもある。デザートが出され、これをサイダー、コーヒー、ジュース、牛乳または水で頂く。スープは断わってもかまわない。デザートも中級以上のレストランでは日本の1.5倍くらいのボリュームなので、あらかじめ給仕に「Poquito」(ポキート=少し)と断わってもよいし、食べ残しが多ければ「Para llevar」(パラ・ジェバール=持ち帰り)を頼むこともできる。

また、店により香辛料または塩味のきつすぎるところもあるため、注文の際ひとことしておくとうよい。肉の焼き加減には「bien asada」(ビエン・アサーダ)、「media」(メディア)、「medio cruda」(メディアオ・クルーダ)、「casi cruda」(カシ・クルーダ)の4通りがある。その店独特の料理名をつけることがあるので、どういうものか説明を聞いたほうがよい。中国料理店でもメニューはローマ字で書いてあるが、中国人のいる店であれば頼めば漢字で書いてくれる。

街の中心部にある高級店には、月曜日が定休日のところが多い。もうひとつ注意しなければならないことは、レストランのテーブルの下などに傘やカバンを置き忘れないことである。まず出てくることはない。

高級店ではクレジットカードで支払うこともできる。1992年まではチップは10%とほぼ



強制的であったが、93年より制度が変わり、客の任意となった。しかし、店によってはあらかじめ請求額に含まれていることもあるので、二重払いにならないよう注意すること。  
外で車の番をしている男性にもチップを出したほうがよい。

<主なレストラン>

～料理	店名	住所	電話
日本	初花	Cr. 13 No. 93A-27	2182573
	植花夢 80	Cr. 14 No. 80-65	2564790
	さむらい屋	Cr. 8A No. 124-22	2135440
	KYOTO	Cr. 11 No. 97-32	2572728
コロンビア	Casa Vieja (カサ・ビエハ)	Cr. 10 No. 26-50 、 Cr. 11 No. 89-08	2810190, 2573913
	Cana Brava (カーニャ・ブラーバ)	Cl. 116 No. 19-89	2138415
	Asi es Colombia (アシ・エス・コロンビア)	Av. 15 No. 116-59	2149995
	La Bella Antioquia (ラ・ベジャ・アンティオキア)	Cl. 57 No. 22-48	2359984
スペイン	La Barra (ラ・バーラ)	Cl. 22 No. 9-23	2832302
	La Casa de la Paella (ラ・カサ・デ・ラ・パエージャ)	Cl. 93 No. 13A-46	6103697
	Las Cuatro Estaciones (ラス・クアトロ・エスタシオネス)	Cr. 8A No. 98-38	2569309
フランス	Sante Gourmet (サン・グルメ)	Cr. 18 No. 82-10	2361082
	le petit bistrot (ル・プティ・ビストロ)	Cl. 76 No. 10-28	2494058
イタリア	La Piazzetta (ラ・ピアツェッタ)	Cl. 92 No. 13-51	2360921
	Giuseppe Verdi (ジウゼッペ・ベルディ)	Transv. 20 No. 122-05, Cl. 58 No. 5-35	2132278, 2495368
	Piccolo Caffè (ピコロ・カフェ)	Cr. 15 No. 96-55	2573394
ドイツ	Edelweiss (エーデルバイス)	Unicentro P-2 L-2-23	2130498
アラブ	El Khalifa (エル・カーリファ)	Cr. 11 No. 88-46	2574846
スκανジナ ピア	Bjorn (ビヨルン)	Cl. 71 No. 9-71	2494041
スイス	Edelweiss (エーデルバイス)	Unicentro P-2 L-2-23	2130498
韓国	La Casa de Corea (ラ・カサ・デ・コレア)	Cr. 15 No. 74-31	2115280
中国	Casa China (カサ・チーナ)	Cl. 109 No. 16-43	2140517
	China Town (チャイナ・タウン)	Cr. 11 No. 91-58	2360993
	Taipei (タイペイ)	Cl. 85 No. 20-28	2572253
	Toy Wan (トイ・ワン)	Cl. 100 No. 13-83	2576514
ロシア	Ruso Na Zdarovia (ルーソ・ナ・ダロビア)	Cr. 14 No. 80-73	2185072

次ページへ続く

～料理	店名	住所	電話
インタナショナル	Pajares Salinas (パハーレス・サリーナス)	Cr.10 No.96-08	6161524
	Mister Ribs (ミスター・リブ)	Av.82 No.9-52	6161399
	Tramonti (トラモンティ)	Cr.1 No.93-50	2182400
海産物	Langostino (ランゴステイーノ)	Av.19 No.104A-53	2135066
	La Fragata (ラ・フラガータ)	Dg.127A No.20-36 L-1	2746527
	Las Cazuelas de Espanita y Ole (ラス・カスエラス・デ・エスパニータ・イ・オレ)	Cl.95 No.11A-51	2361052

<地方都市の主なレストラン>

Medellin (メデジン)

～料理	店名	住所	電話
コロンビア	La Bella Epoca (ラ・ベジャ・エポカ)	Cl.4 Sur No.43A-08	2460089
	La Aguacatala (ラ・アグアカターラ)	Cr.43A No.75-130	2460007

Cali (カリ)

～料理	店名	住所	電話
コロンビア	Don Carlos (ドン・カルロス)	Cr.2 Oeste No.7-94	833023
	Cali Viejo (カリ・ビエホ)	Bosque Municipal	823152

Barranquilla (バランキージャ)

～料理	店名	住所	電話
インタナショナル	Bismarck (ビスマルク)	Cr.46 No.64-32	353468
スペイン	La Gran Paella (ラ・グラン・パエージャ)	Cr.49 No.72-83	353060

Cartagena (カルタヘーナ)

～料理	店名	住所	電話
インタナショナル	Bodegon de la Candelaria (ボデゴン・デ・ラ・カンデラリア)	Cl. de las Damas No.3-64	647251
	Club de Pesca (クラブ・デ・ペスカ)	Manga Fuerte del Pastelillo	661239

(2) その他の飲食店

～料理	店名	住所	電話
メキシコ	Tacos (タコス)	Cr.15 No.83-21	2561170
コロンビア	Carbon de Palo Tipico (カルボン・デ・パーロ・ティピコ)	Av.19 No.109-07	2158088

なお、このほか、パン、Empanada(エンパナーダ)、Bnuelo(ブニユエロ=塩味の揚げパン)、Berlina(ベルリーナ=丸型ドーナツ)、ドーナツなどのおやつを出す軽食店、カフェテリアはいたるところにあるが、日本的なスタイルの店は少ない。そのほか、探せばいろいろな食べ物が手頃な値段で賞味できる。

電話帳でもレストランを探すことはできるが、知人に尋ねるのが一番よい方法である。

## 2. 衣料

### 2-1 衣料

#### (1) 一般事情

必要な衣料は国内で生産されており、すべてを持参する必要はない。また、高地においても夜間0℃以下になるのはごく稀なので、厚手のオーバーコートは不要である。

高地に居住の場合は夏服を着ることはなく、低地に居住の場合はジャケット等に手を通すことはない。手袋、マフラーは登山などをしない限り使う機会はない。

女性用を含めて様々なサイズ、種類の衣服がある。セーターは種類も多く安価で、好みの色や柄でオーダーできるところもある。羊毛、木綿、化学繊維とも国産品が発達している。革製品は品数も多く安価である。

#### (2) 日本から持参したほうがよい衣料

レインコートは日本のものを持参したほうがよい。下着や乳幼児の衣服も、日本製品のほうが安心である。

#### (3) 任国で調達したほうがよい衣料

普段着に用いるような背広やワイシャツは当地で購入するほうが安価である。

#### (4) その他の留意点

靴もさまざまな種類が売られているので当地で購入できる。

### 2-2 礼装

#### (1) パーティー

男女ともスーツを用意しておけば無難である。

#### (2) 式典

男性は黒っぽいスーツを着用するのが一般的である。

フロックコートを貸し出す店がある。

#### (3) 冠婚葬祭

同上。

#### (4) その他の留意点

該当情報なし。

### 2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

#### (1) 洗濯

ドライクリーニング店は町中のあちこちにあり不自由しない。また、キロあたりいくらかという形で衣類（主に木綿製品）を石鹼で洗い、アイロンをかけてくれる店やその宅訪サービスもある。借家の場合は家主、アパートの場合は警備員に紹介してもらう店が無難である。

#### (2) 仕立て、修繕

衣類の仕立ては一定の価格以上のものであれば問題ない。修繕の専門店もある。

#### (3) 保管

ウール製品に穴を空ける虫がいるので注意すること。

### 3. 住宅

#### 3-1 住宅事情

##### (1) 一般事情

他の物価に比べて住居費は割高であり、都市への人口集中から住宅不足は常に問題になっている。ただし中流以上の者にとってはそれほどではない。

土地・住宅の値上がりは激しく、大都市での賃貸契約はすべて1年ごとの更新で、ペソ貸契約の場合は更新時に約20%の値上げを実施することが条件になっている。

各都市とも、旧市街は中流以下の居住地区と化し、新市街に設備のよい新住宅が建っていく傾向にある。当国では、社会階層によってBarrio(バリオ=居住区)が画然と分かれており、ボゴタでは殆どの日本人が、Norte(ノルテ=北部)に住んでいる。

#### 3-2 ホテル事情

1970年以前に建ったCentro(セントロ=中心街)にあるホテルは、その地区の官庁や企業との仕事には便利であるが、スリやかっぱらいが多く、駐車場もみつけにくい。

最近建った新市街地区のホテルは、設備も新しく治安も比較的よいため出張者の利用が増えている。

ホテルでの支払いには、ドル現金、トラベラーズチェックまたはクレジットカードを用いる。当地の銀行小切手は振り出し人(企業)がホテルに登録されていなければ使用できない。企業で割引協定をしているところもある。

チップは通常500~1,000ペソでありレストランでのチップは請求書のServicio(セルビシオ)欄に金額を記入し、サインをすればツケに回る。レストランによっては最初からチップを含めた請求をしているところもあるので要注意である。

ホテルの部屋が大通りに面してうるさい時や設備の故障の際には部屋替えを要求するとよい。また、エレベーターに近い部屋は盗難に遭いやすいので注意すること。大きなホテルよりも中小規模のホテルのほうが、人の出入りが目につきやすく盗難は少ない。部屋の中で盗難にあってもホテル側は責任を負わない原則になっているため、現金や貴重品はレセプションのそばにある金庫に預かってもらうことをすすめる。ボゴタのホテルに滞在し、しばらく地方を廻った後にまた同じホテルに戻るという場合であれば、大きな荷物は無料で預かってくれる。

地方都市のホテルのモーニングコール・サービスはあてにならないので、目覚まし時計は必ず持参すること。

最近はAparta-hotel(アパルターホテル)という2寝室、ホール、台所付きのホテルがあり、グループでの長期滞在には便利かつ経済的である。シングルでの長期滞在にはResidencia(レシデンシア)が向いている。

なお、4つ星(注:観光協会の査定に基づく従来の等級表示=星数表示は1992年に廃止され、等級および料金の設定はホテルの自由となった。なお、宣伝のための星数表示は許されている。)以上のホテルのレセプションには英語の話せる人が必ずおり、言葉の心配はない。また、ホテルの格付けについては、かなりよいホテルでも3つ星のことがあり、これをうまく見分けて利用することをすすめる。

地方都市でホテル事情のよいところは観光都市のカルタヘーナ市である。

<主要都市のホテル>当リストのホテルは4つ星より上級のホテルである

ボゴタ市北部 (Santa Fe de Bogota norte)

ホテル名	a) 住所 b) 電話	料金 (税込み通常料金)
Hotel Bogota Royal (オテル・ボゴタ・ロイヤル)	a) Avenida 100 No.8A-01 b) 2189911	220 ドル 10%の JICA 割引あり
Hotel La Fontana (オテル・ラ・フォンターナ)	a) Avenida 127 No.21-10 b) 2747868	198 ドル 10%の JICA 割引あり
Hotel Bogota Plaza (オテル・ボゴタ・プラサ)	a) Calle 100 No.18A-30 b) 2364940	215 ドル 17%の JICA 割引あり
Hotel Cosmos 100 (オテル・コスモス・シエン)	a) Calle 100 No.21A-41 b) 6217771	178 ドル 週間 15%と週末 30%の JICA 割引あり
Hotel Excelsior (オテル・エクセルシオール)	a) Carrera 14 No.86A-96 b) 2184311	99 ドル 10%の JICA 割引と長期滞在割引あり
Suites Lugano Imperial (スイツ・ルガノ・インペリアル)	a) Calle 70A No.7-62 b) 3131113	168~194 ドル 朝食付、台所有り 30%の JICA 割引あり

ボゴタ市中心部 (Santa Fe de Bogota Centro)

ホテル名	a) 住所 b) 電話	料金 (朝食、税込通常料金)
Tequendama (テケンダマ)	a)Carrera 10 No.26-21 b)2861111	226 ドル 20%JICA 割引あり
Hotel Bacata (オテル・バカタ)	a) Calle 19 No.5-20 b) 2432210	152 ドル 20%JICA 割引あり

Medellin (メデジン)

ホテル名	a) 住所 b) 電話	料金 (税込通常料金)
Hotel Inter-Continental (オテル・インテルコンティネンタル)	a) Calle 16 No.28-51 b) 94-2660680	232 ドル 30%の JICA 割引あり
Nutibara (ヌティバーラ)	a) Calle 52 No.50-46 b)94-5115111	71 ドル JICA 割引なし

Cali (カリ)

ホテル名	a) 住所 b) 電話	料金 (税込通常料金)
Hotel Intercontinental (オテル・インテルコンティネンタル)	a) Avenida Colombia No.2-72 b) 92-8823225	220 ドル 13%の JICA 割引あり
Hotel Dann (オテル・ダン)	a) Avenida Colombia No.1-40 b) 92-8823230	140 ドル 17%の JICA 割引あり
Hotel Dann Carton (オテル・ダン・カルトン)	a) Carrera 2 No.1-60 b) 92-8823230	199 ドル 18%の JICA 割引あり
Hotel Americana (オテル・アメリカーナ)	a) Carrera 4 No.8-73 b) 92-8823063	60 ドル 10%の JICA 割引あり
Hotel Casa del Alfirez (オテル・カサ・デル・アルフェレス)	a) Calle 9 Norte No.9N-24 b) 92-6618111	174 ドル 朝食、飛行場送迎付き。21%の JICA 割引

## Barranquilla (バランキージャ)

ホテル名	a) 住所 b) 電話	料金 (税込み通常料金)
Dos Mundos (ドス・ムンドス)	a) Calle 72 No.47-59 b) 95-3581040	133 ドル 7%JICA 割引あり
Puerta del Sol (プエルタ・デル・ソル)	a) Calle 75 No.41D-79 b) 95-3565006	156 ドル (朝食付き) 25%の JICA 割引あり
El Prado (エル・プラード)	a) Carrera 54 No.70-10 b) 95-3680111	233 ドル

## Cartagena (カルタヘーナ)

ホテル名	a) 住所 b) 電話	料金 (税込み通常料金)
Cartagena Hilton (カルタヘーナ・ヒルトン)	a) Avenida 116 No.19-65 b) 95-6650666	203~249 ドル シーズンにより変動。団体登録は税込料金 157 ドル
Hotel Caribe (オテル・カリベ)	a) Diagonal 127A No.20-06 b) 95-6650155	139 ドル 6%の JICA 割引あり
Hotel Las Velas (オテル・ラス・ベラス)	a) El Laguito Calle 1 No.1-60 b) 95-6650000	128 ドル 20%の JICA 割引あり
Hotel Capilla del Mar (オテル・カピージャ・デル・マール)	a) Carrera 1 Calle 18 角 b) 95-6651140	186 ドル (朝食付き) 33%の JICA 割引あり
Hotel Cartagena Plaza(オテル・カルタヘーナ・プラサ)	a) Carrera 1 No.6-154 Boca grande b) 95-6654000	96 ドル 30%のシーズンオフ (例:9/7~12/20) JICA 割引あり

## Bucaramanga (ブカラマンガ)

ホテル名	a) 住所 b) 電話	料金 (税込み朝食付、通常)
Hotel Melia Confort Chicamocha (オテル・メリア・コンフォー・チカモチャ)	a) Calle 34 No.31-24 b) 97-6343000	145 ドル 20%の JICA 割引あり
Hotel San Juan de Giron (オテル・サン・ファン・デ・ヒロン)	a) Transversal 22 No.87A-19 b) 97-6466430	73 ドル 5%の JICA 割引あり

## Cucuta (ククタ)

ホテル名	a) 住所 b) 電話	料金 (税込み朝食付、通常)
Hotel Tonchala (オテル・トンチャラ)	a) AV 0 Calle 10 b) 975-712005	86 ドル 28%の JICA 割引あり

## Pereira (ペレイラ)

ホテル名	a) 住所 b) 電話	料金 (税込み通常料金)
Melia Pereira (メリア・ペレイラ)	a) Carrera 13 No.15-73 b) 963-350770	160 ドル 15%の JICA 割引あり

San Andres=Isla (サン・アンドレス=イスラ)

ホテル名	a) 住所 b) 電話	料金(税込み通常)
Hotel Cacique Tone (オテル・カシケ・トネ)	a) ボゴタ事務所 電話：6219039 b) 9811-24251	68 ドル (朝食付き)
Hotel Casa Blanca (オテル・カサ・ブランカ)	a) Avenida Costa Rica No.1-40 b) 9811-24115	100 ドル 44%の JICA 割引き
Hotel El Isleno (オテル・エル・イスレーニョ)	a) Avenida La Playa (ボゴタ事務所 電話：3459361) b) 9811-23990	36 ドル (朝食付き)

<主要都市の Aparta-Hotel (アパルターオテル) >

Santa Fe de Bogota (サンタ・フェ・デ・ボゴタ)

ホテル名	a) 住所 b) 電話	料金 (税込み通常料金)
Country 97 (コウントリイ・ノベ ンタ・イ・シエテ)	a) Calle 97A No.10-45 b) 6109700	97,440 ペソ (台所付き) 現金払いは 10%の値引きあり
Country 85 (コウントリイ・オ チェンタ・イ・シンコ)	a) Carrera 18 No.84-56 b) 2180100	同上
Suites Lugano (スイツ・ルガノ)	a) Calle 70A No.7-62 b) 3131192	168,200 ペソ (朝食付き) 30%の JICA 割引あり
Hotel Excelsior (オテル・エクセルシオール)	a) Carrera 14 No.86A-96 b) 2184311	98,600 ペソ 10%~15%の JICA 割引あり

Cali (カリ)

ホテル名	a) 住所 b) 電話	料金 (税込み通常料金)
Aparta Hotel Rayda (アパルター・オテル・ライダ)	a) Calle 2A No.2-76 b) 92-8821518	75,000 ペソ

Barranquilla (バランキージャ)

ホテル名	a) 住所 b) 電話	料金 (税込み通常料金)
Apartotel Eslait (アパルトテル・エスライ)	a) Carrera 53 No.72-27 b) 95-3565013	60,000 ペソ

3-3 住宅の探し方

北部にあるアパートで2寝室、ホール、台所、2トイレ、車庫・電話付きというのが1997年現在、約75万~80万ペソ(約750~800ドル)である。家具付きであればこの50%増し程度となる。北部でもセントロ寄りであれば多少安い。新聞広告を見たり、不動産業者に頼んで候補地を絞り、実際に見て歩く。その土地をよく知る日本人に同行してもらうと、好都合である。

### 3-4 住宅選定上の留意点

- ・ボゴタではアパートの3～7階までの間が比較的安全で、夜冷え込まなくてよい。また南あるいは東西に窓のあるほうが日が射し込んで暖かい。
  - ・隣の雑音が聞こえないところを選ぶとよい。
  - ・電話、車庫、メイドの部屋（トイレ付き）は必要である。電話が敷設手続中のところはやめたほうがよい。
  - ・建物の外に洗濯物を干してはならないため物干し場は十分な広さがあること。
  - ・水道、電気、下水、トイレなどの設備がよく機能し、湯沸かし器の大きさは十分であること（時折、停電になることからガスレンジが併設されている所が望ましい）。
  - ・雨漏りや湿気の跡がないか。
  - ・家主、管理人、警備員の人柄はどうか。
  - ・契約書には細大もらさず記入してあって曖昧な点はないか。
  - ・子供のスクールバスのサービス・エリア内にあるか。
  - ・いつも自家用車が使えるとは限らないのでバス、タクシーが簡単に拾えるところか。
- 以上の事柄に留意するとよい。

### 3-5 住宅の契約

契約書の事項に曖昧な点がないか確認するのはもちろんである。また、本当の家主から借りるのではなく「又貸し」の場合は、トラブルに巻き込まれることがあるから注意すること。ただし、不動産会社が賃貸業務を家主に代わって行う場合は別である。

家あるいはアパートの状況一切の目録（Inventario＝インベントリオ）を渡されたら、項目ごとに実際と照合する。破損しているものを完全なものとして記入してあった場合には、即時、訂正を要求するとよい。

礼金や敷金の制度はないが、一年未満の契約はできない。契約に際し、保証人を要求されることが多い。エレベーター、警備員、共用スペースの清掃費などの管理費は別に請求されるのが普通である。これらの約束はすべて文書にしておくこと。

支払いには小切手（横線入り）を用い、それに受取人名を必ず記入し引き換えに領収証を要求すべきである。

### 3-6 電気、ガス、水道などの手続と管理

電気、電話、水道などの料金は、支払い期日までは口座を開いている銀行で支払うことができるが、それを過ぎるとそれぞれの本局まで出向いて窓口に行列して支払うことになり不便である。ガスはガス・シリンダーを宅配しているトラックに支払う方法と、本社に出向いて支払う方法がある。

ゴミの収集はボゴタの場合は週2～3回で、ポリ袋に包んで収集日の当日に階下へ下ろしておく。

警備員付きアパートでは、入口で警備員が訪問客をチェックし、インターフォンで行き先の家庭に来訪を告げる。その名前に思いあたるふしがないときには、警備員のところまで出向いて話をしたほうがよい。もし訪問者が招かれざる客や押し売りであった場合、頼りになるのは警備員である。なお、警備員には郵便物や重い荷物の出し入れなどでも世話になるので、適宜チップを出しておくとうい。

家賃は通常、月初めの5日間以内に支払うが、5日目が休日であるようなときには先方が



不在のこともあるので早めに支払う。

少々の修理は店子持ちだが、建物の本質的欠陥の修理は大家に要求する。

外出のときや就寝時には窓はすべて閉めておく。強風により開いている窓があおられてガラスが割れることもあるので要注意である。

下水管などが詰まった時は階下の人々に迷惑がかかるので、直ちに管理人に対策を要求する。管理人との交渉はコピー付きの書き物を手渡しコピーにサインをもらっておく（もし対策が遅れた場合自分の過失にならずにすむ）。

火災はきわめて稀であるが、非常階段は常時使用できるか確認しておくこと。階段への出口の扉に鍵のかかっていることがあるので注意する。

夜遅く帰宅する場合は、深夜に入口を閉められてしまい戸外に立ちつくす事態に陥らないよう、前もって門番に知らせておくこと。

一戸建ての多い地区では、近隣が出し合って（1戸当たり月額12,000～15,000ペソくらい）路上警備員を雇うことがある。

### 3-7 その他

アパート内の隣人とのつきあいは、つかず離れずというのがよい。

たとえ相手が子供でも必ず挨拶は交わすこと。

#### 4. 医療

##### 4-1 赴任前の準備

###### (1) 予防接種

黄熱病の予防接種をしなければならないと古い資料にはあるが、義務づけられてはいない。これらの病気がある場所は辺境のごく一部であり、ほとんど心配はない。

###### (2) その他の準備

心臓疾患のある人は赴任前に医師に相談したほうがよい。コロンビアの医師および歯科医のレベルは高いが、言葉に不安のある人、治療途中の人は完治してから出発したほうがよい。長旅や不眠に備え、体調を十分整えておくことをすすめる。

##### 4-2 医療事情

###### (1) 医療機関

医療機関は大・中都市では完備している。民間のものを「Clinica (クリニカ)」、公立のものを「Hospital (オスピタル)」と称する。設備は「Clinica」のほうが整っていることが多い。医師は公立病院で働きながら個人的に医院 (Consultorio=コンサルトリオ) を経営、またはClinicaで働いているため、医療水準は同じ程度である。

<ボゴタの主要医療機関と推薦医師>

専門種別	医療機関名、医師名	電話
民営総合病院	Clinica Fundacion Santa Fe de Bogota (クリニカ・フンダシオン・サンタ・フェ・デ・ボゴタ)	2146611
	Clinica del Country (クリニカ・デル・コウントリ)	2573100
	Clinica Marly (クリニカ・マルリ)	2871020
民営眼科病院	Clinica Barraquer (クリニカ・バラケール)	2187077
開業医・産婦人科	Dr. Carlos Goubert (ドクトル・カルロス・ゴウベル)	2129483
内科および外科	Dr. Carlos Sarria (ドクトル・カルロス・サリア)	2858572
小児科	Dr. Martin Millan (ドクトル・マリン・ミジャン)	2569110
歯科	Dr. Jaime Pinzon (ドクトル・ハイメ・ピンソン)	2362278
	Dra. Carolina Rodriguez (ドクトーラ・カロリーナ・ロドリゲス)	2577858

予約の時刻に行って診断してもらう。医薬分業制のため注射や薬は薬局に行く。初診料の後は同じ病気については一切支払う必要はない。血液検査、検尿、検便、レントゲン撮影、脳波の検査、エコーグラフなどは専門の医療検査所 (Laboratorio=ラボラトリオ) で行い、結果を医師のところへ持参する。医師の処分のことを Receta (レセータ) という。

鍼医はボゴタに2、3人いる。整体は韓国人、コロンビア人医師が1人ずつ開業している。

###### (2) 緊急時の対応と措置

緊急時にはClinica (クリニカ)、Hospital (オスピタル) とともに「Urgencia (ウルヘンシア)」または「Emergencia (エメルヘンシア)」と称する24時間態勢の診療制度がある。中・小都市では、電話で赤十字または州立病院の救急車を要請することもできる。特に盲腸炎、クモ膜下出血や子宮出血のような緊急を要する場合は躊躇せず救急車やタクシーで最寄りの機関に患者を運ばばよい。あとの処置 (転院など) は医師が判断してくれる。

何事も独力で対処しようと思わず、コロンビア人の友人に援助を依頼することをすすめる。

#### 4-3 医薬品など

##### (1) 携行することが望ましい医薬品

電子体温計、カイロ、正露丸、胃散、氷まくら、ゴキブリホイホイ、虫よけ、その他常備薬は日本より携帯すること。

##### (2) 任国で調達できる医薬品

国産の薬品が豊富にあり、地方都市でも簡単に入手できる。大都市では一晩中開いている薬局もある。処方せんの有無は重要ではなく、抗生物質も処方せんなしで購入できる。ただし、日本の薬品名と似ているからといって自己処方するのは危険である。ピル、コンドームなども自由に入手できる。

ヘビ毒、狂犬病ワクチンは、国立衛生研究所から全国どこへでも急送される。マラリアや Dengue 熱、アミーバ赤痢など熱帯病に関しては、療法・薬品ともにコロンビアのほうが日本より進んでいる。漢方薬のような生薬の利用もきわめて盛んである。日常の胃痛や吐き気などに効く生薬が、市場や大道で販売されている。

##### (3) 任国で調達できる衛生用品

殆どの衛生用品が入手可能である。

##### (4) 医薬品を使用する場合の留意点

なるべく医師と相談することを奨める。

#### 4-4 妊娠、出産、育児

##### (1) 妊娠した場合の対応

妊娠初期からかかりつけの産科医を決め、定期検診を受けることが望ましい。

大都市には超音波エコーグラフもある。国際結婚の場合、コロンビア人には Rh マイナスの人の割合が高いため、あらかじめ医師に知らせておくこと。

ウイルス性疾患は妊娠3ヶ月後の人が多いので、外出はやむを得ない場合だけに限ること。外出する時はメイドか知人の同行を依頼する。ペットの世話等は他の家人に任せて、動物には近づかないほうがよい。

日本に比べて帝王切開に踏み切る場合が多い。

##### (2) 出産後の対応

新生児のときから専門小児科医に定期検診を受ける。乳幼児の病気として低地では胃腸炎、高地では気温の急変や乾燥のため風邪が多い。ウイルス性の病気の流行には注意すること。幼児にたいするポリオ、百日ぜき、はしかの予防接種は保健所や Clinica (クリニカ) で実施されるのが普通である。

##### (3) 育児

高地生まれの子供が低地へ移動すると、汗疹がしやすいのでシッカロールなどを用意する。アパート住まいの児童は運動不足になりやすい。治安等に留意するのはもちろんであるが、あまり神経質にならずメイドをつけて近隣の児童と遊ばせるとよい。戸外で新鮮な空気を吸い走り回することは心身の発達に重要なことである。

また、幼児がいる家庭では定期的な回虫駆除を実行すべきである。

#### 4-5 手術

##### (1) 任国で可能な手術

腸管手術はあまり勧められない。帝王切開、盲腸などの外科手術は殆ど問題はない。手術

を受けた直後は、担当看護婦と巡回医師による検診が重要である。

麻酔、抗生物質アレルギーなどのある人は、あらかじめ医師に十分話しておくこと。

## (2) 手術設備の状況

腎結石を音波で砕く装置はない。大病院にはその他の殆どの医療機器が揃っている。

## (3) その他の留意点

高度な技術を要する手術は、日本あるいは米国で受けることを奨める。

## 4-6 任国でよくかかる傷病

### (1) 一般の疾病

コロンビア到着後1～2週間のころは下痢をすることがある。特に無理をしがちな人によく起こる。上水が硬水であることと時差ボケによる睡眠不足、言語ストレスなどが重なるのが原因とみられる。

これと異なり、暑い地方での下痢は細菌性であることが多いため、それに効く薬を服用すること（日本で市販されている止瀉薬は効かないこともある）。

コロンビア人にはコレステロール蓄積に起因する心臓病が多くみられる。太りすぎはもっとも注意すべきことであろう。

食中毒は一般家庭でもよく起こる。その予防には次の事項に留意すること。

- ・外食は、なるべくよく知っている店にする。
- ・メイドに、新鮮な肉の見分け方、卵は皿別に1個ずつ割って黄味が崩れたものは捨てる、冷蔵庫の上方には肉、チーズ、卵、魚など腐るのが早いものを置くなど基本的な教育をする。また、手を洗う習慣をつけさせる。
- ・台所、ホールからネズミやゴキブリを駆除する。

万一中毒症状を呈したら、なるべく胃中のものを吐いてしまい、医師に診てもらう。食中毒の場合、クレオソート錠（正露丸）は有効である。

### (2) 風土病・伝染病

高山病の発症には個人差がある。

3ヶ月くらい経つと赤血球が増加し、肺の酸素交換能力が増加する。それまでは走ったり、過激なスポーツは控えること。

特に都市部に多い伝染病はウイルス性肝炎である。元気がなくなってから約3日間後に39℃くらいの発熱、その後黄疸となり便の色も白くなる。大人ほど症状が重く、回復に日時を要する。伝染しやすいので、タオル、下着、食器などは熱湯消毒し、病人と健常者の物とを混用しないことが必要である。安静にして完治させること。無理をして安静を怠るとおり返してかえって悪化する。

都会では狂犬病が発生することがある。犬にかまれた場合はすぐにHospital（オスピタル）かClinica（クリニカ）に行き処置してもらう。

時折、結膜炎が流行るので手で目をこすらないよう気をつける。

暑い地方では、デング熱やアミーバ赤痢が発生することがある。当地の医師はこれらの症状と対策を熟知しているので、速やかにHospital（オスピタル）かClinica（クリニカ）へ行くこと。

チフス、コレラ、ジフテリアの心配は殆どない。

エイズについては、予防キャンペーンがテレビ等で盛んに行われている。

### (3) 有害動物、病害虫

有害動物や病害虫は、通常の居住区域ではほとんど駆除されている。暑く不衛生な地域へ出張する場合は、医師と相談して対策を考えること。

## 4-7 保健衛生

### (1) 飲料水

ボゴタ、メデジン、カリ、カルタヘナといった4大都市の上水道の水は、衛生上問題はない。その他の市町村の水道水は、生では飲まないほうがよい。小都市や農村およびサン・アンドレス島では、住民は水のかわりに店でソーダ水やサイダーを購入して飲用している。

大・中都市やサン・アンドレス島では、Agua Cristal（アグア・クリスタル）と称する濾過水を10リットル入りの大瓶で宅配しているおり、長期滞在する場合は契約するとよい。また、スーパーでミネラルウォーターを購入できる。

### (2) 濾過器の入手

輸入品フィルターが市販されているが、前述の4大都市では不要なため、ほとんど普及していない。日本製品はこちらの水道管の径に合わない。

### (3) その他の留意点

第一に大切なのはストレスをためないことである。第二には僅かな体調の崩れでも即時手当てをし、決して無理をしないことである。

その他の留意点は次のとおりである。

- ・国内旅行には急激な気温差に備え、セーターまたはジャンパーを持参して、こまめに体温調節する。
- ・2,000メートル以上の高地では、低地より長めの睡眠を取るべきである。特に短期のスケジュールで来る出張者は、無理をしがちで、定住している日本人よりもはるかにトラブルが多いので要注意である。
- ・暑い地方で水と共に注意すべきはトイレである。外出した折には念入りに手を洗うこと。
- ・湿度は低いので、睡眠中にのどが乾燥してアレルギーになったり、空せきをする場合が多い。この場合は洗面器に水をはってベッドの下に置くことで、せきが鎮まることが多いので試してみるとよい。
- ・2,000メートル以上の高地では紫外線がきわめて強いので、日傘、帽子、日焼け止めクリームで顔や手足を保護する必要がある。
- ・Chicha（チチャ）やGuarapo（グアラッポ）と呼ばれる発酵酒をすすめられた場合は少量に止めること。Aguardiente（アグアルディエンテ＝焼酎）やRon（ロン＝ラム酒）などの蒸留酒であれば、悪酔いすることは少ない。
- ・その他保健上の疑問は、在住日本人に尋ねるとよい。

## 5. 教育

### 5-1 教育事情

#### (1) 一般事情

義務教育の完全実施に向けて努力しているが道はまだ遠い。小学5年、中・高校6年、大学5～6年という制度である。国民は子弟の教育に熱心で、一流大学の水準は高くボゴタだけでも33の大学がある。中流以上の家庭の子弟は大学卒業後、アメリカ、フランス、スペイン、ブラジル、メキシコなどの大学で専修科目を勉強し、資格を取る人が多い。大学入試は、国家試験をICFES（イクフェス）が全国的に実施し、点数がよければ希望校の希望学科に入学できる。一般に、中・上流家庭の子弟は有名私立校に入学する。これら私立校には幼稚園から高校まである学校も多い。一方、農村では学校が遠いことや経済的な理由から、小学校しか出ていない人が大多数である。

#### (2) 日本人学校

1977年、日本人学校が創立され、日本の普通小・中学校と同様の教育を受けることができるようになった。97年現在、教員数11人、生徒数50人である。市の北郊に位置し、校舎、体育館、運動場は、ほかの私立校並に整備されている。ただし、今のところ当国教育省の公認となっていないため、卒業後、コロンビアの高校に入る際は資格上の問題が出てくる。

この学校の運営には、大使館と進出企業等が参加する「日本文化協会」が当たっている。理事長は毎年総会の選挙により交代することになっている。また、商社員、大使館員、日本政府機関に勤務する人に関わらず、広く日本人子弟に門戸を開いている。将来の展望としては、幼稚園コースの併設、コロンビア教育省の認定獲得などがある。

同校のスペイン語名はAsociacion Cultural Japonesa（アソシアシオン・クルトゥラル・ハボネサ＝日本文化協会）で、住所はTransv. 26 No. 171-35である。

#### (3) 現地校、外国人学校

日本人子弟が日本の学校から当地の高校(Bachillerato＝バチジェラート)に転入、あるいは入学する場合に推奨できる学校として、米国系のColegio Nueva Granada（コレヒオ・ヌエバ・グラナーダ）、英国系のEnglish School（イングリッシュ・スクール）、Colegio San Carlos（コレヒオ・サン・カルロス＜男子校＞）、Colegio Anglo Americano（コレヒオ・アングロ・アメリカーノ）、Colegio Abraham Lincoln（コレヒオ・アブラハム・リンコン）などがある。

これらの学校ではすべて2ヶ国語教育が行われている。

#### (4) 幼稚園

4歳半から入園できる。1年後Transicion（トランシシオン）というクラスに入り、6歳半で小学校に入学する。幼稚園はすべて私立で、午前中のみであり、送迎バスのあるところが多い。教育方針などはまちまちである。

### 5-2 入学手続および授業料

#### (1) 日本人学校

1997年度の授業料は月に21万ペソである。入会金は200万ペソ（法人、個人共通。日本文化協会の法人メンバーの子弟には支払い義務はない）、年会費が法人260～360万ペソ、個人140万ペソである。小学校または中学校の入学時に一度だけ支払う入学金は一人目の子弟は29万ペソ、二人目では22万ペソと逡減してゆく。そのほか、PTA会費として年に3

万ペソ、スクールバス代として月に7万4千ペソ、適時、不定額の臨時教材費を支払う。なお、大使館、JETRO、JICA、輸銀、日本人学校教員の子弟に対しては入会金と年会費が免除される。

(2) 現地校、外国人学校

入学手続きには、在日コロンビア大使館の翻訳証明付き成績証明書その他を当国の教育省に提出し認可を受けることが必要である。

(3) 幼稚園

入園金や月謝は様々である。

5-3 教育関係施設

(1) 図書館

ボゴタにある主要な図書館は、次のとおりである。

Biblioteca Nacional(ビブリオテカー・ナシオナル)

住所：Calle 24 No.5-60

電話：2414029

開館時間：月～土曜日、8:15～19:45

Biblioteca Luis Angel Arango (ビブリオテカー・ルイス・アンヘル・アランゴ)

住所：Calle 11 No.4-14

電話：2439100

開館時間：9:00～21:00 (月～金曜日)、8:00～21:00 (土曜日)、  
8:00～18:00 (日曜・祭日)

そのほか、DNP(Departamento Nacional de Planeacion=国家企画庁)、DANE(Departamento Administrativo Nacional de Estadistica=統計局)、ICA (Instituto Colombiano Agropecuario=農牧庁)、INCORA(Instituto Colombiano de Reforma Agraria=農業改革庁)、INAT(Instituto Nacional de Adecuacion de Tierra=土地改良庁)などの各官庁では、その分野に関する図書の閲覧室が一般に開放されている。

(2) スポーツ施設

市営のものには、Casa Nacional de Deportes (カサ・ナシオナル・デ・デポルテス 住所：Av.68 Calle 63)があり、テニス、フットボール、バスケットボール、野球、温水プール、卓球、体操およびボウリングの施設がある。

私営社交クラブ(会員制)の主なものは、次のとおりで、ゴルフ場、乗馬施設などがある。

Club Campestre (クラブ・カンペストレ)

電話：2583300

Club de los Lagartos (クラブ・デ・ロス・ラガルトス)

電話：2530077

Club Campestre Internacional (クラブ・カンペストレ・インテルナシオナル)

電話：2363992

Club El Nogal(クラブ・エル・ノガル)

電話：3131353

ボウリング場には、次のものがある。

Unicentro (ユニセントロ)

住所：Av.15 Calle 125

Bolivar Bolo Club (ボリーバル・ボーロ・クラブ)

住所：Av. Caracas No.25-06

また、私営卓球場が市内の各所に多数ある。

乗馬クラブとしてはClub Hipico Bogota (クラブ・イピコ・ボゴタ)

<住所：Calle 222 No.51-95 電話：6760089>がある。

#### 5-4 家庭学習

##### (1) 家庭教師

口コミまたは新聞の3行広告で求める。小学生を対象にしたものでは英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、数学、物理、生物、地理、歴史、音楽、絵画、ピアノ、たて笛、ギターなどの課目がある。

##### (2) 通信教育

通信教育を受けたい時には、海外子女教育振興財団が行なっている海外向けの通信教育を受けるとよい。小学校、中学校の国語、数学、理科、社会などが受けられる。詳細については下記に問い合わせること。

東京本部

住所：〒105 東京都港区虎ノ門 1-21-17 虎ノ門NNビル 6階

電話：03-3580-2521

関西分室

住所：〒530 大阪市北区梅田 1-3-1-200 大阪駅前第一ビル 2階

電話：06-344-4318

インターネット：<http://www.joes.or.jp>

テレビに小・中学コースの教育放送がある。このほか、ギター、洋裁、料理などに関する通信教育がある。

##### (3) 携行したほうがよい家庭用学習教材

現在学習している教材およびこれから学習しようとする教材のほかに、西和・和西・英和・和英・国語などの辞書類は欠かせないものである。



## 6. 家庭の使用人

### 6-1 一般事情

一戸建ての場合は住込みのメイドが必要である。近隣、知人の口コミや新聞広告で募集し、身元を照会して確認する。

外国人であるからといって水準以上の待遇要求をのむ必要はない。

家庭で一時的に雇う使用人との間にはトラブルが発生することがある。そこで、仕事に関する契約は書面にし、了解の署名をとるようにするとよい。

失業者は多いが良い人材を確保することは困難である。なお、相手方に落度があったり契約違反があったら、躊躇せず直ちに辞めてもらうようにしなくてはならない。また雇用者も契約違反をすると訴えられるので注意が必要である。

### 6-2 運転手

#### (1) 雇用

雇用するには口コミ、新聞広告で求める。知人または職場の運転手に技術・知識の確認をしてもらい、ライセンス、身分証明書、兵役証明書（必ず必要）および推薦状を確認し、給与等で合意できれば1年間の契約をかわす。

契約書は市販の用紙＝Minerva（ミネルバ）に、必要な文章を補足する。健康証明は当方指定の医師または大病院で発行したものに限る。

運転手に外国語を要求するのは困難である。

多少とも勤務不良や危険運転の兆候がある場合には、契約後2ヶ月の試用期間中に辞めさせたほうがよい。2ヶ月以上たつと辞めさせるのに相当の理由が必要であり、かなりの退職金を払わねばならない。

通常、報酬は平均最低賃金の20～30%増しで15日ごとに支払う。勤務は週48時間制で、超過勤務の算定は法令に従う。日曜日・祭日などは休日であるが、当該日に働いてもらうと、通常の2倍の日当を出す義務がある。

ボーナスは年2回、半月分ずつ支払う。そのほか、諸手当、交通費など、すべて法律で細かく定められている。食費は、勤務上離れられない場合に限り一般労働者レベルの額を支給する。

事故で車に損害が生じた場合の責任など、契約に明記しておく。強制保険のほかに任意保険にも加入しておくことが必要である。

#### (2) 日常管理

勤務管理、走行管理、燃料管理、部品管理などは、一定の第三者に任せる。車の点検と洗車は運転手の義務とする場合が多い。

運転手のマナーが悪いと、企業・団体そのもののマイナスとなるから厳重に戒める。

服装や安全確認なども含め2ヶ月の試用期間中はとりあえず観察し、納得できない人には辞めてもらうことである。

#### (3) 教育指導

該当情報なし。

#### (4) その他の留意点

該当情報なし。

### 6-3 メイド／サーバント

#### (1) 仕事の種類と人数

一般に清掃、洗濯、台所仕事、子守といった仕事を一人でこなす場合が多い。ただし、住居が広い、あるいは家族の人数が多い場合は、当然雇う人数も増え、各々に仕事を分担させることになる。料理専門、子守専門といった形で契約した場合は、何らかの理由で一人が欠けたとしても、もう一人が代わって兼業するという義務も習慣もないのを心得ておくべきである。

#### (2) 雇用

雇用方法は運転手の項と同様である。

一般に、この職種に対して支払われる給料は最低賃金（法定）である。家庭または組織の安全性に関わる、責任ある職種なので、保証人や推薦状は十分に確認すること。

半日勤めや1日おきの通いの場合、最低賃金を労働時間に比例して払う。住込みの場合は食費相当分を合意のうえで差し引くことを契約書に明記する。退職金や日曜日・祭日に働いてもらう場合の手当などは、すべて法定どおりに支払うこと（毎日の通いではない場合の退職金は、働いていない日数に比例する分を差し引いて支払う）。

健康保険に加入させない場合は、すべての病気・傷害にかかる費用は雇い主の負担となる。

#### (3) 日常管理

日常管理についても契約書が基本となる。仕事を始めたときの推薦状や、その他一切の書類を保管しておき、重大な落度を犯した場合、口頭だけでなく書いたものを示して注意する。確かに自分の落度であったと認める意味でコピーにサインさせ、これを前の書類とともに保管しておくのがよい。短期間に3回以上の落度があった場合は辞めさせることができる。

メッセージャー・ボーイに第三者への金を持たせる時など、本人の給料プラス退職金の額を越すような現金は渡さないこと。

また雇用主と使用人の立場をはっきりさせておくことが大切である。少し褒められただけで過度の自信をもって仕事をいい加減にしたり、信頼されていることを理由に雇用主のテリトリーに入ってくる使用人が往々にして見受けられるからである。

メイドには通いと住込みの2通りがある。通いの場合には家内の食料品を勝手に自宅へ持ち帰ってしまったり、住込みの場合には留守の間に現金や装身具に手を出すという可能性もあるので、事前に家内の物品を表にし、管理が容易にできるよう配慮することが必要である。

### 6-4 庭師、ガードマンなどの雇用

#### (1) 雇用

ガードマンの場合、雇用は警備会社に依頼する。

ガードマンの契約は警備会社と結ぶことになる。各会社が教育訓練をしており、苦情は本人よりも会社側へすみやかに通知して改善を要求するほうがよい。

庭師の雇用は口コミによる。たとえ勤続年数の長い人であっても気を許してはいけない。日当の値上げ要求は安易に受け入れず、近隣コロンビア人家庭に相場を確かめてから検討するのがよい。

## 7. 交通事情

### 7-1 交通手段

#### (1) 一般事情

航空機は国営企業 AVIANCA (アビアンカ) のほか、多くの外国航空会社が乗り入れている。ニューヨーク直行便は毎日 2 便、マイアミ行きは外国エアラインも含めて毎日 6 便ある。国際線には AVIANCA、American Airlines、VIASA、Air France、KLM、SAM、Lufthansa、Aeroperu、Air Panama、ALM、LAN-Chile、Copa (カルタヘナ、バランキージャ、メデジンのみ)、LADECO、Aerolineas Argentinas、Varig、IBERIA、Ecuatoriana、British Air、Lacsa (バランキージャのみ) がある。国内線には、AVIANCA、SAM (サム)、ACES (アセス)、AIRES (アイレス)、Inter-continental (インテルコンティネンタル)、SATENA (サテナ) などがある。

カリ～ボゴタ～メデジン間は予約不要で約 30 分おきに乘れる Avianca 航空のシステムがあり、これを Puente Aereo (プエンテ・アエレオ) と称している。これに接続するモンテリア行き、およびパスト行きと、AVIANCA のニューヨーク、マイアミ行きは、市内寄りのプエンテ・アエレオ・ターミナルから発着するので注意が必要である。

航空運賃は、当国のペソ切り下げが激しいことから、国際線では年に二度、国内線では年に三度修正される。なお、日本航空 (JAL) のルートは入っていないが在ボゴタのオフィスは同社線の予約ができる。

日本航空オフィス

住所：Calle 99 No.9A-54 (of.204)

TEL：6162371

ボゴタ飛行場と市内との交通には、車体に飛行機のシルエットを白く抜いた飛行場専属タクシーと一般タクシーが利用できるほか、セントロから Cr. 10 (カレラ・デシマ) を經由し Cl. 26 (カジェ・ベインティセイス) を通る Taxi Colectivo (タクシー・コレクティーボ) がタクシー料金の何分の 1 かで利用できる。そのほかバス、小型バスおよび空港から乗客の家を回って降ろしていく乗り合いバスなどを利用することもできる。

国際線で出発する場合は 2 時間 (但し、American Airlines の場合は 3 時間)、国内線の場合は 1 時間の余裕を持って飛行場に待機することを要求される。

当国は山国であるため、早朝発の便は視界不良でよく遅れる。

なお、国内で買った航空券には飛行場使用税が入っているが、外国や日本で IATA の航空券を買った人は国内の飛行場で出発時に税を支払う義務がある。

鉄道は近代化にとり残され、現在はほとんど貨物のみの営業をしている。

土曜日と日曜・祭日には、ボゴタ中央停車場からシパキラまたはパルケ・ハイメ・ドゥーケ (ディズニー・ランド風の小遊園地) まで SL の観光列車が運行されているので、これを利用するのも一興である。

飛行機便のない都市へ行く場合、または自家用車を利用しない場合には長距離バスがある。ただし、治安の問題から利用は昼間のみとするなど最小限にとどめること。

ブルマンと称される大型バスはリクライニングシート、空気ばね、冷房装置 (暑いルートのみ) を装備したデラックスなものである。5 人乗りの Taxi Colectivo (タクシー・コレクティーボ) のあるルートも多いが、ゆったりしている点と事故の場合のリスクを考えるとブルマンをすすめたい。大手企業としては Expreso Brasilia (エスプレッソ・ブラシリア)、

Expreso Bolivariano (エスプレッソ・ポリバリアーノ)、Flota Magdalena (フロータ・マグダレーナ) の Linea Gacela (リネア・ガセーラ)、Velotax (ペロタックス)、Flota Macarena (フロータ・マカレーナ) がある。料金は公共事業省が統制している。

#### (2) 自家用車を利用する場合

国道通行の際に必要なものは、車の所有証明書、免許証、同乗者全員の身分証明書、消火器、故障の際に車側に立てる三角標識、ジャッキ、タイヤ・ナット回し、スペアタイヤである。このほか有用なものに、ドライバー、ペンチ、スパナ、手袋、布などの工具、道路地図、懐中電灯、タイヤ輪止め、ブレーキオイル、水を入れた缶、ナイロンロープなどがある。

#### (3) レンタカーなどを利用する場合

業者は電話帳のイエローページで探す。また主要ホテルのロビーに出張所を設けている会社もある。レンタカー会社は日曜日・祭日は営業していないため前日の夜に車を受け取る必要がある。借りる時にはクレジットカードの提示を要求される。行き先の道路事情によってジープを貸すところもある。料金は時間と走行距離の併用制が多い。出発前に、国道状況を公共事業省や職業運転手に尋ねることが望ましい。

また、ボゴタには次のような無線タクシー (24 時間営業) がある。

Taxi al Instante (タクシー・アル・インスタンテ) 電話：2888888

Real Transportadora (リアル・トランスポルタドーラ) 電話：2800300

Teletaxi (テレタクシー) 電話：2506666

Proturismo (プロツリスモ) 電話：2233333

#### (4) 道路地図

道路地図は Esso (エッソ) ガソリンスタンドまたは国土地理院 (Agustin Codazzi = アグスティン・コダッツィ) で求めることができる。

### 7-2 交通事故

#### (1) 対処方法

緊急時の連絡先として、家族、友人、企業 (または大使館) の電話番号を書きとめておけば、自分が怪我などで動けない場合でも第三者に通報を依頼できる。

事故現場にはすぐ野次馬が集まり、なかには泥棒がすきを窺っていることもある。特に、親切をよそおって近づく泥棒がいるので要注意である。

事故当事者のいずれかが保険に加入している場合、保険金請求には交通警察が作成する事故見取図などが必要になるため、事故状況を維持したまま交通警察を呼ぶ。双方とも保険に入っていない場合は、即時示談をはかるのが最良である。人身事故の場合、加害運転手は留置される。また、その車も抑留される。

事故現場において相手が怒号し、それに圧倒されて過失もないのに謝ると、先方の主張を受け入れたことになりがちである。また、中途半端に口答えしないほうがよい。自分の主張に有利な、周囲にいる第三者を味方にするのも方法である。

負傷者を運ぶ適当な車がないときは、通りがかりの車に依頼して最寄りの病院まで運んでもらうか、通報してもらうことである。この際、チップを忘れずに渡すこと。

#### (2) 救急病院

各市町村には救急指定病院がある。(P.12 4-2 (2) 参照のこと)

### (3) 盗難

サン・アンドレス島を除いて全国的に盗難が多い。わずかの間でも油断するのは危険である。自家用車には点火キーのほか、ハンドルロック、クラッチ（ブレーキ）ロック、サイレンなど、三重、四重の防備が必要である。

盗難車はすぐに解体され、パーツにして売られてしまうので手元に戻ることはない。したがってパーツ需要のある国産車やトヨタ、ニッサンの四輪駆動車が狙われ易く、注意が必要である。

盗難保険の掛け金はきわめて高く、電子式ロックの装備が義務づけられることもある。しかし、熟練した泥棒の技術は相当なものであり、殆ど役に立たない。

窓の半開きや扉の閉め忘れ、エンジンをかけたままの下車、などに十分注意が必要である。車の所有証明書は、車のポケットに入れたりせず、身につけて持ち歩くこと。この証明書は1枚コピーして自宅に保管しておくとしオリジナルを紛失して再発行を申請する場合などに役立つ。自宅車庫前に着いたからといって、エンジンをかけたまま下車してはいけない。物陰から走り出て車にとび乗り逃げ去る泥棒がいるからである。

コロンビア自動車クラブ（A C C=Automobil Club de Colombia）に入会しておくとし、盗難や事故の場合の届け出代行、修理工出張やレッカー車での持ち帰りサービスなどがある。この組織のサービスエリアは全国に及んでおり、便利である。

コロンビア自動車クラブ（A C C）

住所：Av. Caracas No.46-72

電話：2327580

2881313（24時間事故救急アテンド）

## 7-3 交通違反

### (1) 交通法規

この国の交通法規は常識的なものであり、比較的覚えやすい。

注意すべきは日本で左側通行の運転をしているため、とっさの場合、無意識のうちに左側通行の反応をとってしまうことである。過去に法規や道路状況をよく知らずに運転し、重大事故に至った日本人の例もある。また、日本人ドライバーの知らないことに Cr. (Carrera=カレラ) 優先がある。そうでない所には特別に標識が立てられる。したがって、今自分が走っているのが Carrera であるか Cl. (Calle=カジェ) であるかを常に意識していなくてはならない。Carrera と Calle は共に道路の名称につく（例：～通りなど）。

歩行者、自転車、牛馬などは交通規則の枠外にある。これら治外法権者の行為が原因で事故に至ったとしても責任の転嫁はできない。

スピードの出し過ぎは危険である。

### (2) 対処方法

交通警官は、軽い違反であれば説諭だけで済ませることもあるので、彼らの心証を悪くしないこと。事故調書（Parte=パルテ）が本署へ送られる場合は、出頭する義務が生ずる。罰金と引き換えに没収された免許証が返却される。違反したことを知らなかった場合は、Parte が本署の当該車のファイルに蓄積され、毎年の税金支払いの際に請求される。罰金は税金とともに金利がつき、全額精算しなければ車を売却できない仕組みになっている。

## 7-4 車の修理

### (1) 部品

修理ではなく、保守のためのオイルのとりかえや点火回りの整備は、前者はオイル店、後者は Sincronizacion (シンクロニサシオン=tune-up) の店でできる。近年は、両方の整備とタイヤ関係の仕事も兼ねた大規模なサービス・ステーションが方々に設立されており、大きなガソリンスタンドではこれらの営業を兼ねているところがある。

部品は、国内に数多く走っている車種のものなら入手可能である。大都市では、自動車パーツ店が集中している所が2、3ヶ所あり便利である。ただし、年式が古いものに関しては部品を探すのに苦労することがある。どうしてもないときには、Cr. 18とCl. 8の交差するあたりで中古のパーツが入手可能である。また、ニッサンやトヨタといったポピュラーなメーカーのものでも当国に輸入されていない車種を持ち込むのはすすめられない。

### (2) 修理工場

修理工場としては、当該車を輸入または販売している代理店直属の工場が信用でき、部品の在庫もある。ただし一般の町工場に比べ修理代は高い。ブレーキ修理については、専門の工場が各所にあるので利用できる。不測の事故などで動かなくなった時は、身元のはっきりしない修理工の申し出は断わること。不良パーツと交換されたり、工具を持ち逃げしたり、たとえ修理をしても法外な修理代を要求したりすることがあるからである。このような時は電話で場所を告げてレッカーに来てもらい、修理工場またはガレージへ運んでもらうことが最善の措置である。

一般にコロンビアの自動車工の技能は優秀であるが、できれば自ら再点検することが望ましい。

## 8. 通信

### 8-1 電話

#### (1) 一般事情

電話はかなり普及している。農村部では部落ごとに Telecom (Empresa Nacional de Telecomunicaciones=テレコム) 事務所があり営業時間 (8:00~21:00) 内に申し込めば、国内外どこへでもかけることができる。

一部の公衆電話は 20 ペソ以上の硬貨しか使えない。町中の公衆電話の 2 割は故障している。特に大雨の後しばらく不通になる地区が多い。サン・アンドレス島への電話は、衛星を使用するため通信状態はかなり向上した。

#### (2) 国内電話

主要市町村へはすべてダイヤル直通で通話できる。ホワイトページ電話帳の DDN (Discado Directo Nacional=ディスカード・ダイレクト・ナショナル) の Indicativo (インディカティーボ) 表から希望局の Indicativo をみつけ、先にこれを回してから相手の電話番号を回す。地域によっては、日中は市外通話幹線が大混雑しているのでかかりにくい。

DDN にならないところは 01 で交換手に申し込む。

#### (3) 国際電話

国際電話のダイヤル直通は、ホワイトページ電話帳で DDI (Discado Directo Internacional=ディスカード・ダイレクト・インテルナショナル) の表を見て相手国の Indicativo を回し、次に相手の電話番号を回す。日本へは国際電話 Prefix 90 のあとに Indicativo 81, それから市外局番の最初のゼロを除いて相手番号を回す。

東京の場合：9 0-8 1-3-XXXX-XXXX

コレクトコールは Llamada Revertida (ジャマーダ・レベルティーダ) と称するが、09 で交換手を呼び出し、支払人 (相手) の名前と番号、自分の名前と番号を告げて、つながったまま待つ。相手の不在や、相手が料金支払いを断ったため通話が成立しない場合は基本料金の 20% を請求される。

日本への電話は、コロンビア時間の 19:00~7:00 の間であれば 30% の夜間割引が適用される。通話はエコーが入って聞きづらいことがある。

欧米や日本へは比較的にかかりやすいが、近隣諸国のパナマ、ヴェネズエラなどへの国際電話はトラブルが多い。

### 8-2 電信

#### (1) ファクシミリ

ここ数年のあいだに急速に普及してきている。

#### (2) テレックス

テレックスの新設には日時を要する。セットのリースは月約 100 ドルでセットの購入には約 4,000 ドルかかる。大都市の Telecom には、公衆テレックスがある。

自前テレックスの場合、アメリカ、ブラジル向け 1 分間の料金は、1993 年現在 2,500 ペソである。

#### (3) 電報

電報は各市町村の Telecom から打つ。国内でも翌日宅配になることが多い。

8:00~12:00、14:00~18:00 の間でないと打てない。

#### (4) インターネット

接続業者は多数ある。ある業者では約 25 ドルを支払って加入する。以後、毎月約 25 ドルを支払う。

### 8-3 郵便

#### (1) 一般事情

国営郵便が市内、国内、国際 (Sea Mail) の郵便を扱っている。また、AVIANCA が代行する航空郵便 (Correo Aereo=コレオ・アエレオ) が平行して存在する。これは国際航空便と国内航空便を扱い、きわめて良好なサービスを誇っている。

通常航空郵便を利用すると、アメリカまで 3 日、日本へは 5～6 日で届く。ただし、ヴェネズエラやパナマでは受取側の問題から、1 ヶ月～1 ヶ月半かかることもある。

国内では航空郵便の Aeropuerto a Aeropuerto (アエロプエルト・ア・アエロプエルト) と称するサービスがある。これは、ある空港の航空郵便の窓口朝投函すれば、当日中に他の空港の窓口に着く。宅配はないが、至急の用には便利である。

いずれのシステムもセントロの本局以外に、Unicentro (ユニセントロ) という商業・センター内や Chapinero (チャピネロ) 地区にある支局、そのほか薬局などで投函することができる。直営の事務所には航空郵便の Apartado Aereo (アパルタード・アエレオ) と呼ばれる私書箱制度もある。

このほか民営の宅配サービスの企業も、日本の O C S の代理店をはじめ十数社あり、戸口から戸口への書類や商品見本の配送を行なっている。これは電話 1 本で取りに来て即日配達するので、料金は高いが早く着く。

Yacon de Bogota Ltda. (ジャコン・デ・ボゴタ=O C S 代理店)

住所: Cl. 51 No. 28-22

電話: 2118735、2177952

同支店

住所: Cl. 100 No. 16-47 Local 201

電話: 6121332、6121491

#### (2) 課税

該当情報なし。



## 9. マスコミ

### 9-1 新聞

#### (1) 主な日刊紙

主な全国紙には、自由党系の「El Tiempo (エル・ティエンポ)」と「El Espectador (エル・エスペクタドル)」、経済紙の「La Republica (ラ・レプブリカ)」、保守系の「El Siglo (エル・シグロ)」などがある。定期購読すると大幅な値引きがある。市販は1部 400~500 ペソである。地方紙は、Av. (Avenida=アベニダ) 19 の Cr. 10~13 の間の北側に何ヶ所かスタンドがあり、そこで入手できる。

#### (2) 本邦日刊紙

OCS代理店では日本の新聞(地方紙を含むあらゆる新聞)の定期購読を扱っている。

#### (3) 欧米紙

主要日刊紙は現在アメリカで印刷している衛星版があり、前日のものが読める。

「The New York Times」と「Miami Herald」、それにヴェネズエラ、アルゼンティン、ブラジル、チリ、エクアドル、ペルーの各主要紙は、テケンダマ・ホテルのそばのドラッグストアで2日遅れくらいで購入できる。

### 9-2 ラジオ

#### (1) ラジオ放送局

国営を含め中波ではボゴタに33局、他の主要都市にも多数の民間放送局がある。ほぼ24時間放送しており、内容は音楽とニュースが主である。FM放送はボゴタに23局ありステレオ放送である。主要都市にも数局ずつあり主として音楽放送を行っている。

#### (2) ラジオジャパン

短波でラジオジャパンが聴取可能である。

#### (3) 任国で聴取可能なその他の外国放送

VOA、BBC、RAI、HCJBなどがよく入るほか、夜間はヨーロッパの主要放送が近隣南米諸国の放送よりもよく入る。

### 9-3 テレビ

#### (1) テレビ放送局

番組制作は民間プロダクションであるが放送は国営である。コマーシャル入りで、純教育番組は第3チャンネルのみである。国内大都市へは2チャンネルが中継されているほか、地域テレビがアンティオキア県とカリブ海沿岸地方のコスタ・アトランティカに2局開局した。すべてカラー放送である。番組内容はニュース、ルポルタージュ、ドラマ、クイズ、音楽などの国産プログラムが約80%、輸入番組(ほとんどがアメリカ映画)が約20%で、同じスペイン語圏の南米諸国からの番組も入ってくるようになった。児童向けアニメ映画は90%日本製である。UHF放送はない。

またケーブルテレビが発達しており、現在は8チャンネルが受信でき、将来さらに増える見込みである。内容はUSA作成のニュース、スポーツ、映画、アニメなどである。

#### (2) テレビ受信

日本で使用されているテレビ受信機は、USチャンネルで放送している当地では使用不可能である。なお当地のテレビ受信機の値段は16インチで300ドル程度である。

アパートによっては前述のケーブルテレビに加え、衛星放送も受信可能なところがある。

## 10. 教養、娯楽、趣味、スポーツ

### 10-1 映画、演劇

#### (1) 映画館

映画は主要な娯楽であり、どの都市にも多くの映画館がある。入場料は統制されており、1,500～3,000 ペソである。主な上映フィルムはアメリカ、イタリア、フランスのもので、国産は年3本くらいである。

#### (2) 劇場

演劇はきわめて盛んである。カフェテリアやレストランでコメディアーを上演するカフェテアトロなる方式も盛んである。ボゴタ、カリなどの国際ホテルやキャバレーでは、常時観光客向け（スペイン語の知識不要）のショーを興行している。

### 10-2 出版、書籍

#### (1) 一般事情

出版活動は盛んであり、大都市には書店も多い。スペイン、メキシコなどスペイン語圏の諸国からの書籍も多種輸入されている。

#### (2) 書店

ボゴタの主要書店には、Libreria Buchholz（リブレリア・ブフホルツ）、Libreria Nacional（リブレリア・ナシオナル）、Libreria El Lago（リブレリア・エル・ラーゴ）、Libreria Panamericana（リブレリア・パナメリカーナ）、Libreria del Ingeniero（リブレリア・デル・インヘニエーロ）、および Libreria Central（リブレリア・セントラル）がある。専門書の書店は Cl.13～17 の Cr.5～7 の間に集中している。

輸入洋書はとり寄せを依頼できる。また日本の書籍は週刊誌、月刊誌を含めてすべて OCS 代理店から取り寄せることができる。日本に比べて書物は高価である。

### 10-3 語学学習

#### (1) 語学学習施設

Universidad Javeriana（ユニベルシダー・ハベリアーナ 住所：Cr.10 No.65-48 電話：2123009）に外国人のためのスペイン語学習クラスがある。

英語を学習するための施設には次のようなものがある。

施設名	住所	電話
Consejo Britanico（コンセホ・ブリタニコ）	Cl. 87 No.12-79	2369839
Centro Colombo Americano 1 （セントロ・コロンボ・アメリカーノ）	Cl. 19 No.3-05	3347640
Centro Colombo Americano 2	Diagonal 109A No.17-10	2156697
Instituto Meyer（インスティトゥート・メイエル）	Cl. 101 No.22-59	2182317、2182276

フランス、ドイツ、イタリアなどの大使館が後援する各国語の講習会もある。学期、指導法、授業料は様々である。日本語による外国語の講習は皆無である。

#### (2) 家庭教師

家庭教師は、口コミまたは新聞広告で求めることができる。報酬、水準はいろいろだが、1時間約 10,000～15,000 ペソで、個人またはグループ教授がある。

## 10-4 文化活動、文化施設

### (1) 一般事情

ボゴタには多くの博物館、美術館、コンサートホールなどがあり国際見本市も隔年開かれている。

ボゴタにある 12 の博物館のうち観光客に人気のあるのは黄金博物館 (Museo del Oro=ムセオ・デル・オーロ 住所:Cr.6 Calle 16 電話:2813065) である。月曜日休館、日曜日・祭日は午前中開かれている。

また英雄シモン・ボリーバルの旧邸 Quinta de Bolivar (キンタ・デ・ボリーバル 住所:Cl. 20 No.3-23 E 電話:2846819) も見どころである。

美術館には、次のものがある。

美術館名	住所	電話
Museo de Arte Moderno (ムセオ・デ・アルテ・モデルノ)	Cl. 26 No.6-05	2860465
Museo de Santa Clara (ムセオ・デ・サンタ・クララ)	Cr. 8 Cl. 9	
Museo de Arte Colonial (ムセオ・デ・アルテ・コロニアル)	Cr. 6 No.9-77	

プラネタリウム (Planetario=プラネタリオ 住所:Cr.7-Cl. 26) は火~金曜日の 11:00、15:15、土・日曜日・祭日の 11:30、15:15 および 16:15 に公開されている。

この国の文化活動は、民間主体のもの以外は Colcultura (コルクルトウーラ=文化庁) が、その推進にあたる。また、ボゴタには Instituto Distrital de Cultura y Turismo (ボゴタ文化観光局) がある。外国人に好評なのは市立植物園 (住所:Cr. 66A No.56-84 電話:2400483) で熱帯から寒冷地までの植物を一堂に集め、ガイドも待機した立派な施設で一見に値する。動物園は、民営の小規模なものが近郊のテケンダマにある。

### (2) 日本・任国友好協会などの有無と活動内容

日本人会には本邦進出企業・団体からなる「木曜会」と、コロンビア永住組の「日系人協会」とがある。大使館では日本語、生け花、墨絵、盆栽などの講習会を時折開いている。

### (3) その他の文化活動、文化施設

該当情報なし。

## 10-5 写真、ビデオ

### (1) 写真

フジフィルムが進出しており、コダックと同様どこでも現像・焼付が可能である。その料金は高いが、代金約 9,000 ペソを前払いすると同等フィルムを無料で貰える。

高山ではブルー・フィルターを持参したほうがよい。

職業写真のための現像には Foto Rudolf (フォト・ルドルフ 住所:Cr. 15 No.101-20 電話:2365699) をすすめる。

### (2) ビデオセット

当国ではベータシステムが一般的であったが、近年はビデオレンタル店でも VHS システムが多くなった。市内各所の、主としてアメリカのプログラムを扱っているビデオレンタル店の賃貸料は 3,000 ペソ前後である。ビデオカメラも普及しており、このシステムもベータから VHS に移りつつある。

屋号に Japones(ハポネス) とつけてテレビ・ラジオの修理を兼業しているサービスショップがあるが、日本人と関係ない。ただし、カリの Electro-Japones (エレクトロ・ハポネス) は例外である。

良心的なサービスショップには、次のものがある。

店名	住所	電話
Centro de Servicio Laser (セントロ・デ・セルビシオ・ラセル)	Cr. 7 No. 108A-11	2147543
Servicios Electronicos Ltda. (セルビシオ・エレクトロニコス・リミターダ)	Cr. 14 No. 76-40	2366850
Colel (コレル)                   *ソニー製品のみを取り扱う	Cl. 100 Cr. 11 角	2928966

### (3) 各種テープ

録画テープは自由に入手可能である。録音テープも日本製、台湾製、国産品を街角で購入できる。

## 10-6 音楽鑑賞、演奏、民族楽器

### (1) 音楽会、コンサート

Orquesta Sinfonica de Colombia (オルケスタ・シンフォニカ・デ・コロンビア) という国立オーケストラのほか、ボゴタ・フィルハーモニーや青年オーケストラなどの楽団が常時公演している。また、外国からも一流の楽団、演奏家が常時来演している。メデジンには当国で最大最新の市立のコンサートホールがあり、ボゴタには Teatro Colon (テアトロ・コロン)、Sala Luis Angel Arango (サラ・ルイス・アンヘル・アランゴ) およびナショナル大学のレオン・デ・グレイフ講堂などのコンサート会場がある。

これらの催し物の案内と解説は、毎日の新聞の文化欄に出る。ポピュラー、民族音楽の外国からの演奏家や歌手は、毎日曜日に Media Torta (メディア・トルタ) という野外劇場に出演する義務がある。これは入場無料である。

この国で国際的に活躍している音楽家には、クラブサンの Rafael Puyana (ラファエル・プジャーノ)、メゾソプラノの Martha Senn (マルタ・セン)、ヴァイオリンの Carlos Villa (カルロス・ビージャ) などがいる。

### (2) コーラス、演奏グループ

Tolima (トリマ) 県のコーラスグループ以外は、ほとんどがアマチュアで、一時的にグループを組んで公演している。2～3の大学にはコーラス部がある。

### (3) ピアノなど

前項と同様、ピアノで生活する人は少ないが、オルガン奏者で Jaime Llano Gonzalez (ハイメ・ジャーノ・ゴンサーレス) は数多くのレコードを出している。一般にピアノは上流家庭のもので高価である。ピアノの購入は専門の会社や友人・知人を通して行われる。

### (4) CD、レコードなど

日本のミュージックテープの入手は不可能である。カントリーやボサノバ、ジャズもいくらか入手できる。レコード店で市販されているのは、ほとんどが国内ポピュラーカラテン音楽・クラシック音楽で、価格は約 9,000 ペソである。大道では海賊盤のポピュラーやラテン音楽のテープを安く売っているが、音質はよくない。

CD、レコードはクラシック音楽、ラテン音楽についてはテープより種類が豊富である。

現在CDは著しく普及しており、その種類も豊富である。価格は輸入盤で約20,000ペソ、国内盤で約15,000ペソである（1997年9月現在のレートは、US\$1=Col\$1,240）。

#### (5) 民族楽器

ギター、ティブレなどは安価で良質のものが入手可能である。アマチュアやプロのトリオも数多く、教師も多い。しかしコロンビア音楽は曲よりも歌詞に重点がおかれており、在留日本人のなかで習得する人はあまりいない。

元医師であったJorge Villamil（ホルヘ・ビジャミル）が作曲面で抜きんできている。

#### (6) その他の楽器

リコーダー（豎笛）やリュートなどを用いてルネッサンス期や中世の音楽を楽しむ個人やグループがあり、ときどき公演も行われる。

### 10-7 手芸、絵画、美術工芸など

#### (1) 手芸

民芸品（Artesanias=アルテサニラス）の生産はきわめて盛んで専門店も多い。

店はUnicentro内およびCr.15-CI.74、Cr.10-CI.10（Pasaje Rivas=パサヘ・リーバス）に集中している。毛織品（Ruana=ルアナ、壁かけなど）、皮革品（文具品、壁かけ、Bota=ボタク長靴など）、木工品、金属品（金製品イミテーション、壁かけなど）、布類（テーブルクロス、民族衣装など）、インディオの楽器、絵画、木彫、陶器、昆虫が主である。一般の趣味としてクロチュエ、モラなどの刺しゅうやろうけつ染（Batik=バティック）がある。

#### (2) 絵画、美術工芸

コロンビア絵画の水準は高く、ボテロ、グラウ、オブレゴンなど国際的な画家を輩出している。故アリサのように日本画の影響を受けた人もいる。大正ロマン主義を具現した竹久夢二の直系の孫である竹久野生（のぶ）女史が当地で活発な美術活動を続けている。

彫刻家では、ネグレが精力的に活躍している。

陶芸はアマチュアの間でも盛んであり、ラキラ地方に見るべき作家がいる。

### 10-8 趣味

#### (1) 園芸

大部分の日本人はアパート住まいのため、趣味として園芸をやっている人は少ない。

コロンビア人は植木が大好きである。好んで室内におかれる鉢植えは、シダ、ゴム、ラン、サボテンなどである。住宅内に3メートル四方くらいの植木スペースがある家も多い。

最近では盆栽の講習会や展覧会もあり、各地には花卉園芸のクラブがある。

植木を売る店をVivero（ビベーロ）と称する。ボゴタではCI.53、Cr.17～21の一角が有名である。

#### (2) 釣り

ボゴタ周辺の湖にはマスが多く、釣りに行く日本人も多い。釣りにはボゴタ高原自然環境公園（CAR）のライセンスを入手する必要がある。低地では車で3～4時間のヒラルドヤオンダで、ナマズの種類がとれる。海釣りは盛んではないが港には貸船もある。

#### (3) その他の趣味

古銭、外国紙幣、切手の収集が盛んである。セントロ、特に、Av. Jimenez（アベニーダ・ヒメネス）Cr.8～10のあたりでは大道に古紙幣を売る露店が多い。

これに関連した国立博物館に、Museo Numismatico (ムセオ・ヌミスマティコ 住所:Cl. 11 No.4-93 電話:2343200) がある。

大きな戦争がなかったため、骨董品を集めるには最適である。

骨董品店(Almacen Anticuuario=アルマセン・アンティクアリオ)

店名	住所
Cancino (カシーノ) 1	Cr. 7 No.70-96
Cancino 2	Cl. 63 No.9-54
La Candelaria (ラ・カンデラリア)	Cl. 79B No.7-97 Int.10

古道具店(Almacen de Antigüedades=アルマセン・デ・アンティグエダーデス)

店名	住所
Escaparate (エスカパラテ)	Cr. 11 No.82-20
Medina Mejia (メディーナ・メヒア)	Cr. 7 No.48-93
El Nogal (エル・ノガル)	Cl. 79B No.8-50
Trinidad de Perez (トリニダー・デ・ペレス)	Cr. 9 No.22-37

Cr.10、Cl. 7~10の間に並んでいる質屋の店先を覗いてみると、意外な掘り出し物にあたることもある。本やレコードのコレクションをする人には、Cl.19、Cr.8~14の露店がおもしろい。その他のコレクションをする人も、新聞の3行広告に様々な情報が載っているので参考にするとよい。

昆虫、特にチョウのコレクションをする人にはフサガスガ、ビジャビセンシオ、コレヒオ、メサなどの近辺に行くことをすすめる。特にビジャビセンシオは東部大平原をひかえているので、ほかの3市とはまったく異なった種類が手に入る。

毎日曜日にCr.3 Calle 19~23の間、およびウサケン地区などでノミの市が開かれる。様々なものが売られており、インドの絹製品などエキゾチックな物もあり楽しい。ただし、スリヤ引ったくりに注意すること。

ペットについては、動物から伝染するウイルスには注意しなければならないが、治安の面で犬を飼う必要も生じてくる。犬を入手するには新聞の3行広告にある犬の欄を利用することができる。街にはペット店がありハト、インコ、カナリア、オウム、ウサギ、モルモット、猫、犬、猿、リスなどを売っている。熱帯魚と金魚は別に専門の店がある。

## 10-9 娯楽、遊戯など

### (1) 娯楽、遊戯、ゲーム

コロンビアでは年末年始、誕生日、卒業、送別会など、何かにつけて家庭でダンスパーティーをする習慣がある。招かれたら、帰りは夜半になることを覚悟すること。

大都市にはビンゴとかEsferodromo (エスフェロドロモ) や各種電子ゲームの店がある。ビリヤードは国中のいたるところにある。通常のトランプやブリッジは一般的ではなく、Naïpe (ナイペ) という花札の元祖のようなスペインの遊びやドミノが盛んである。また、トトカルチョのようにプロサッカーの勝負に賭けるゲームが盛んである。

カジノは市内に数軒ある。

カーニバルは balankees と pastos のものが有名で、多くの観光客を集める。

カルタヘナで行なわれるミス・コロンビア・コンテストは 大行事である。

日本人の間ではカラオケ、マージャン、邦楽、カードなどの趣味は個人で行なわれている。当地の建築構造上、大きな声や楽器の音も隣家へは殆ど届かないので気兼ねなく楽しめる。マージャン大会は同好の士の間で随時開かれている。

## (2) レジャーランド、娯楽場、遊園地

郊外に大きな遊園地である パルケ・ハイメ・ドゥーケがあるほか、市の中心部にスポーツ・遊戯施設を備えた大きな緑地公園があり、週末には家族づれで賑う。

メキシコ、イタリア、中国などのサーカスやプロレスは野外あるいは室内競技場 (Coliseo Cubierto=コリセオ・クビエルト)、レストラン、ホテル、クラブなどで興行している。こういった催し物の情報は新聞や壁広告に掲載されている。

## (3) ディスコ、カラオケ

繁華街にはディスコがあるが、音楽を楽しむだけで踊るわけではない。サルサやラテンの各種ダンス音楽が主流である。市内各所にあるディスコのなかでも特に Cl. 82-Cr. 13 周辺の ソーナ・ローサと呼ばれる地域のディスコは人気がある。

日本料理店「初花」(P. 1-3 (1) 飲食店の項を参照) にはカラオケの設備がある。

カラオケ用のアンプやテープ・CD は、当地のみならず自由港パナマでも入手できない。テープ類を一度に大量に持ち込むと、税関に商用と査定され没収されることがあるので注意すること。

## 10-10 スポーツ

### (1) ゴルフ

当地の日本人が最も愛好するスポーツである。民間の社交クラブの会員になるか、会員に招待されるとゴルフコースに入ることができる (5-3 項を参照のこと)。殆どの大・中都市には社交・スポーツのクラブがある。

ゴルフ用品はすべて輸入物なので USA で購入するより割高である。

### (2) テニス

前述のクラブのほか、テニス同好者専門のクラブがある。また、公営・私営のコートで入場料を払ってプレーすることができる。

### (3) 水泳

海水浴は日帰りでは行けない。カルタヘナ、サンタ・マルタ、コペーニヤス、トルー、サン・アンドレス島など、いずれも飛行機で行かなければならない。

市の内外の数ヶ所に温水プールがある。車で 2~3 時間下りた暑いところのメルガール、グアドゥアス、オンダ、トカイマ、マリキータ、ラ・ドラダなどに多くの淡水プールがある。ボゴタから車で 3 時間たらずのところにあるパイパの温泉プールは、景色もよく立派なホテルもある。

### (4) その他のスポーツ、用具、ウェア

一般に山間地帯ではサッカーと自転車のロードレースが中心で、コスタ地方では野球とボクシングがこれに代わる。ただし低地族たる日本人にはサッカーのような激しい動きのあるものは薦められない。

日曜日にはあちこちの都市で歩行者天国 (Ciclovia=シクロビア) が実施されるため、車

で出かける際には注意しなければならない。

素晴らしい高山が多いが、治安が悪いため登山ができないのは残念なことである。

ボゴタ周辺の2,3の町を中心に、植民地時代からの石畳の道がと所々残っている。機会があればカミーノ・レアルで周囲の緑と新鮮な空気の中散策するとよい。

モータースポーツとしては、オートレースやゴーカートのレースがある。さらにクラシックカーの趣味と、古いポンコツ車をチューンアップしたり強力なエンジンに積み替えて楽しむ趣味がある。また Saltamonte (サルタモンテ) と称する不整地形にジープで乗り入れる競技が盛んである。自転車競技はことのほか盛んで、用具を売る店も多い。

単発・双発の小型飛行機の免許が下記のところで取得可能である。

Aeroandes (アエロ・アンデス)

所在：Aeropuerto Guaymaral (アエロプエルト・グアイマラル)

電話：6760668

最近ではハンググライダーの同好者も急増している。

スポーツ用品一般の専門店として、ボゴタでは Casa Olimpica (カサ・オリンピカ Cl. 19 No.6-12) があげられる。Unicentro 内にもいくつかの専門店がある。

卓球のペンホルダー用ラケットは入手しにくい。

#### (5) スポーツクラブなど

スポーツクラブは、前述のようにほとんどが社交クラブを兼ねている。

その他乗馬クラブがあり、簡単に乗馬が楽しめる。また、重量挙げ、レスリング、体操などの民営クラブがある。

#### 10-11 子供の遊び

フットボールや、日本と同じような遊びがたくさんある。アパート住まいであっても、近隣のコロンビア人の子供と仲よく遊び、親睦を深めることは子供の心身の発達に役立つばかりか、いざというときの安全確保につながることを心得るべきである。ただし幼い子供が戸外で遊ぶ場合には、必ずメイドや年長の子供に同行させ、責任を持たせる必要がある。



## 11. その他のサービス

### 11-1 金融機関

国際協力事業団コロンビア事務所が口座をもっている銀行にはバンコ・デ・クレディト (Banco de Credito Cl. 72 No.7-46) のほかバンコ・ウニオン・コロンビアーノ (Banco Union Colombiano)がある。このほか市内各所にさまざまな銀行がある。

口座を開設するには、当該銀行にすでに口座をもっている人の保証書、あるいは所属団体の出す給与証明書が必要である。その確かなものを提出すれば簡単に口座を開設することができる。

### 11-2 コンピュータ

いろいろな代理店を通して各種の最新の機器が常時入手できる。有力紙の中には週1回、コンピュータに関する特集ページを組んでいるところもある。

### 11-3 美容院・理髪店

店の雰囲気や調度、従業員の接客態度などレベルはまちまちである。出張サービスをする店もある。また、男性のためのマニキュアを行うところもある。

価格は4,000～8,000ペソ（男性）、4,000～10,000ペソ（女性）である。

日本より持参したほうがよい美容・理髪用品としては、ドライヤー、シェーバー、剃刀、脱毛器具、ホットカーラーなどがある。輸出用の110ボルトのものを持参すれば、変圧器なしでの使用が可能である。100ボルト用の電気器具を持ってきた場合でも、電気街にて電圧を115ボルトから100ボルトに降下させる変圧器を作らせることができる。なお、男性のシェーバーの替え刃は必ず1～2個持参すること。

## 12. 観光

### 12-1 地方旅行上の留意点

JICAでは治安問題から立入を制限している所がある。旅行計画は事前に許可を得なければならない。

連休や年末年始にはホテル、タクシー、レンタカーなどすべて予約で一杯となるので、早めに予約を入れることをすすめる。また、予約を証明する領収書などの証拠を持つことが大切である。ない場合は電話などで予約を承諾した人の名前を控えておくといよい。

地方ではドルは換金できないのでペソを持参すること。

暑い地方では水道の水を飲まないこと。また、蚊取線香（Caracol＝カラコルと称する国産品を薬局で入手できる）やRepelente（レベレンテ＝顔や手足に塗る虫よけ薬）、虫さされ軟膏、帽子などを必ず持参すること。

寒い地方へ行くときは、夜の冷込みに備えて少なくともセーターを1着多く持参すること。

### 12-2 主要観光地・保養地ガイド

家族単位の趣味として、在留日本人の間でもっとも盛んなのは旅行である。国際的にはマイアミ、メキシコ、コスタ・リカ、パナマ、エクアドルのガラパゴス諸島やブラジルのイグアスの滝、ペルーのインカ遺跡やブエノスアイレスなどにまで休暇旅行の足を伸ばす人も多い。国内またはボゴタ近郊でも行き先には事欠かない。

時期としては雨季は問題が多いので避けたほうがよい。また、連休には行楽地のホテルは予約なしでは泊まれないので注意すること。

予期せぬ事態が起こる可能性もあるので日程に余裕をもって計画するのがよい。

旅行社や協組などで組織するツアーは割安であり、コロンビア人の友人をつくる良い機会となる。以下に有名な観光地の名称とそのポイントを列記するが、なかには治安の問題から避けるべき場所もあるので、現地事情にくわしい人から情報を得ること。

Cartagena（カルタヘーナ＝史跡、海水浴）

Guatavita（グアタビータ＝湖と植民地時代風に再建された町）

Chiquinquirá（チキンキラ＝大寺院）

Laguna de Cocha（ラグーナ・デ・コチャ＝湖とマス）

Leticia（レティシア＝アマゾンの森と川と動物相）

Laguna de Tota（ラグーナ・デ・トタ＝湖とマス）

Manizales（マニサーレス＝ルイス火山とコーヒーの町）

Orocué（オロクエ＝東部大平原の自然景観）

San Agustín（サン・アグスティン＝先住民の遺跡）

Isla de Providencia（イスラ・デ・プロビデンスシア＝海水浴）

Isla de San Andrés（イスラ・デ・サン・アン・ドレス＝海水浴、自由港）

Santa Marta（サンタ・マルタ＝海水浴）

Sierra de la Macarena（シエラ・デ・ラ・マカレーナ＝国立自然公園）

Tunja（トゥンハ＝植民地時代の町）

Villa de Leyva（ビジャ・デ・レイバ＝前世紀の面影がそのまま凍結した町）

ボゴタ近郊では次のとおりである。

Honda (オンダ=植民地時代の町と川)

Nemocon (ネモコン=岩塩坑)

Neusa (ネウサ=湖とマス)

Paipa (パイパ=温泉)

Piedra de Tunja (ピエドラ・デ・トゥンハ=巨石)

Tenjo (テンホ=温泉)

Zipaquira (シパキラ=地下教会、大洞穴)

観光通訳はボゴタに5人、カリに3人程いる。料金は1日あたり100~150ドルほどである。

## 12-3 旅行

### (1) 自動車

アンデス山脈は南米大陸を北上し、コロンビアに入ると三本の支脈に分かれる。主な都市は(カリブ海沿岸を除いて)、これらの支脈のそれぞれがつくる高原、傾斜地、盆地などに位置している。自動車による旅行をする場合は、寒冷地、冷涼地、温暖地、暑熱地と気温により、また土地が傾斜しているか平坦であるかにより、さまざまに変化する景観を楽しむことができる。幹線道路は舗装しており、標識、サービスエリアなどもほぼ完備している。

### (2) バス

ボゴタと全国各地の都市を結ぶバスが発着するターミナルは市の中央部にある。リクライニング・シート、冷房、トイレ付きの大型バスがあり、カリ市まで約10時間、24,800ペソ、カルタヘーナ市までは約20時間、58,000ペソである。サンタ・マルタ市までは約20時間、50,000ペソで快適な旅行が楽しめる。

### (3) 鉄道

7. 交通事情の項(P.21)を参照のこと。

### (4) 航空機

カリ市までの運行便数は一日に19便、所要時間は約55分、料金は普通クラスの片道で約111,000ペソである。カルタヘーナ市までは一日14便、所要時間は約1時間15分で約171,000ペソである。

航空機はほとんど双発ジェット機あるいはジェットプロップ機で、安全かつ快適である。航空券の予約、購入などは市内各所にある旅行代理店で簡単にできる。

## 12-4 旅行代理店

いつも利用する航空代理店を決めておくと好都合である。また、口座を開設しておくと月末払いもでき、電話1本でチケットを家や事務所に届けてくれるなど何かと便宜をはかってくれる。

## 12-5 ホテルなど宿泊施設の手配

これも前記航空代理店が代行する。それが及ばないところは直接電話で予約するか、友人などに電話で依頼するとよい。また電話帳のイエローページ巻末に、全国主要都市のホテルの電話番号がのっている。

クレジットカード使用の可、不可はホテルによって違うので事前に確認しておくこと。

### 13. 治安、緊急時の心得

#### 13-1 暴動、クーデターなど

##### (1) 緊急時の連絡

当国の社会不安に基づく緊急発令は「Estado de Sitio (エスタード・デ・シテリオ=戒厳令)」と「Toque de Queda (トケ・デ・ケータ=禁足令)」の2種がある。

戒厳令とは、治安当局がその職能行使上不便であるような民権を制限するもので、一般市民には関係なく、平常時との差は殆どない。

禁足令は、不穏な状況になった際、時間を定めて一切の外出が禁止される。通常、数時間の余裕を置いて発令され、ラジオ、テレビで告知される。その時刻以降に路上にいる者は即時留置される。禁足令が出たら何時から発効するかを確認し、自宅に帰る時間がなければ最寄りの知人宅や事務所にとどまるより方法はない。ポゴタにおいては禁足令は二十数年来発令されていない。

そのほかには禁酒令 (Ley Seca=レイ・セカ) があり、市町村単位で選挙の前日、当日などに施行される。

邦人全体の緊急時には、大使館と木曜会による連絡網がある。

#### 13-2 強盗、盗難

##### (1) 一般的治安状況

コロンビアの都市部 (サン・アンドレス島を除く) の治安は、最近の失業率上昇に比例して悪化の一途をたどっている。零細農民や都市の失業者が不法占拠している「Invasión (インバシオン) 地区」の住民が犯罪の主役となることが多い。犯罪の多くは、スリ、かっぱらい、誘拐、詐欺、脅迫、偽造、空き巣狙いなどであり、警察も特定調査はしない。しかし、時には殺人事件も発生しており、その多くは犯罪者同士の利害衝突、警官、裁判官などへの復讐が発端であり、無動機殺人はきわめて少ない。

銃器の入手・所持が比較的容易なため、流れ弾などを受ける危険性があり、十分な注意が必要である。また、日本人はこのような環境に慣れていないため犯罪に巻き込まれやすい。

##### (2) 防犯対策

###### a) 自宅での心得

主な出入口にはロックを2個以上つけ、できれば警報装置をつける。扉にはレンズ付きの覗き穴をはめ込む。家族全員で留守にする時は、扉をロックするか錠をかける習慣を身につける。また、屋内にいる場合でも、かんぬきやAldaba (アルダバ=訪ない金) のような安全装置はロックしておくこと。

家の表は衆目にさらすよう、庭木などは小さいものにする。夜間は必ず家の内外を点灯したままにしておく。忍び込む助けになりそうな庭木や物を庭におかない。

天窓がある場合は、内側に鉄棒をつけておくか、ガラスを二重に嵌める。

私営の警備員やアパート付属の門番を100パーセント信用するのは危険だが、彼らとは友好関係を持っておくこと。

外来訪問者に対しては扉を開ける前に、誰が何の用で来たかを確認する。扉を開けたとたんに眠り薬を嗅がせられた例もあるので用心を怠らないこと。最近では声帯模写を使う賊が多いため、必ず目で確認すること。不急不要の訪問は断固断わる。外来訪問者を待たせる時は戸を開けたまま屋内に戻らないこと。外来訪問者が知人の名を出しても、その知人本人に電

話で確認するまでは戸を開けるべきではない。電力会社や水道、警察などの関係者と称して制服姿で来る人に対しても、電話で問い合わせるほうがよい（電話番号を訪問者に尋ねてはいけない）。一人にいる場合でも、訪問者に余人がいるよう思わせることが必要である。アンケートと称する訪問者にはとりあわず、断固断わること。

犬を飼うのは有効であるが、以前雇っていた使用人や近所の人に対しては効力がない。また、外来者が睡眠薬を入れた食物を与え得るような場所に放し飼いにしては役に立たない。

メイドや子供に対し、「あなたの親（主人）から、この先の路上で交通事故にあったのですぐに来てほしいと伝言するよう頼まれた」と嘘を云い、驚いている隙を見て家の中に侵入したり、ひとりが話をして注意をそらしている間に、他の仲間が家の中に入り込んだりする手口がきわめて多いので要注意である。

ある店から納入品だと大きな食器棚を持ち込まれ、「もし間違いなら明朝とりに来るから問題はない」と、留守番のメイドが説得され家の中に置いて行かせたところ、夜中にその食器棚のなかに隠れていた子供が戸口の錠をはずし、表にトラックで待機していた仲間を呼び入れ、一切を積み込み逃走した例がある。花や食物の贈物も、相手からあらかじめ知らせがあった場合以外は断固断わること。

#### b) 路上での心得

基本的に6:00以前、22:00以降の外出は避けること。

必要以上に華美な服装で犯罪者を挑発しないこと。犯罪の多い地区へ行く際はデジタルやプラスチックなどの安い時計をつける。装身具も金、ダイヤなどの高価な物、及び、高価に見える可能性のある物はつけない。衣服のボタンは、犯罪者の多い地域では全部かけておく。

人気のない通りは避け、多少回り道でも大通りを歩く。隙を見せず四方に目を配りながら早足で歩くのがよい。現金は必要最少額にとどめて、3～4ヶ所に分散して持ち歩く。

人混みの中には抱きつきスリのグループがいるので、人混みは避けて通ること。

行く手に人相の悪いのが2人以上いるのを見たら、さりげなく大回りをする。

タクシー、自家用車に乗っているときには、暑くても窓を全開にしてはいけない。また、ドアロックをするように心がける。車が止まった瞬間に、腕時計やハンドバッグをひったくられることがあるからである。

番地や時刻を尋ね、立ち止まった隙に襲う手口があるので、一定の距離をおいて歩きながら答える。ショーウィンドーに見とれていたり、車道を横断しようと赤信号で立ち止まっているような時には、周囲への警戒心が薄れるので注意すべきである。

犯罪の多いセントロ（中心街）を歩く場合は、コロンビア人に同行してもらうのがよい。

貴重品はハンドバッグ、手さげ袋には入れず、古新聞や食物の包装紙に入れてさりげなく持ち歩くこと。札束等を持ってやむを得ず治安の悪いところを通るときは、札束を靴下または靴の中に入れて歩く。

バスに乗る際、発車寸前に後ろから続いて乗るふりをし、ひったくる手口が多い。

市中での高額を支払いは、現金ではなく横線入り小切手かクレジットカードにする方がよい。人目のあるところで札束の勘定をしてはいけない。

武器で脅迫された場合は（たとえ武術の心得があっても）、大声をあげたり抵抗したりすると命にかかわるので、現金のみの財布をすぐ渡してしまう。身分証明書、パスポート、小切手帳、その他の書類のほうが現金よりも損害が大きく、後処理がたいへんである。

写真やビデオを街中で撮影するときは2～3人の同行者とともに行く。これ見よがしに機材をぶら下げて歩くことは厳に慎みたい。早朝ひとりで撮影に出るなどのもってのほかである。

### c) 事務所内での心得

自分のデスクから離れる時は面倒でも鍵をかけること。所内の人には見張っている義務はないからである。

事務所内は公道と同じである。デスク上に容易に持ち出せる電卓、カメラ、カバンなどを置いたり、人前で札束を数えたりしてはいけない。事務所で暑くなり、貴重品が入ったままの上着を脱いだところ、いつの間にか見も知らぬ上着にすり替わっていた例もある。

電話で話すときも、周囲の人が聞いていることを念頭に入れて内容に注意する。

トイレに隠れ、夜間にめばしいものを荷造りし、朝方の人込みに紛れて逃走する手口も多い。事務所のトイレに鍵がかかっているのはそのためである。終業後、最後に戸締まりをする責任者および不在時の代理人を定めておくこと。

業務内容や職員の名を調べ、話を合わせて信用させ、詐欺を犯すという頭脳犯も多い。このような手合いはそれらしい整った身なりである。名刺や書類を示して、根も葉もない架空の寄付、またはクラブ・団体への入会を誘いに來ることもある。このような詐欺犯にとって最大の武器となるのが、会社のレターヘッドや名刺、伝票などである。このような紙類は、詐欺犯の能力いかんで数十万ペソの価値に変わることを肝に命じ、厳重に管理すること。

### (3) 被害時の心得

パスポートの盗難は大使館へ即時届け出る。身分証明書や小切手帳、現金などの盗難（または紛失）は、最寄りの裁判所（Juzgado=フスガード）に届け出（Denuncia de Perdida de Papeles=デヌンシア・デ・ペルディダ・デ・パペレス）する。新しい身分証明書を出してもらうため、Denunciaのコピーを持って治安当局（DAS=ダス）に即時出頭する。このDenunciaはすべての書類の再発行時に要求されるから、コピーを数枚作り、Autenticacion（アウテンティカシオン）という原本証明を登記所で行う。

家財・現金の盗難や、危害を加えられた場合には、最寄りの Inspeccion de Policia（インスペクシオン・デ・ポリシア）に Denuncia（先方で書いてくれる口述書にサインをしたもの）を提出する。これがないと、後日もし盗品が出ても要求することはできない。

自宅で盗難があった場合は、家のなかの状況をつかんだ盗賊が、後日あらたな獲物を求めて戻ってくることを考えて対策をたてる必要がある。何が先方につけ込まれた弱点であったかを分析し、それを直ちに改善することである。小切手帳やクレジットカードが盗まれたり紛失したりした場合は、間髪を入れず銀行およびカードの本部へ通知し、後日書面で通知する。そのためにもパスポート、免許証、クレジットカードなどの番号を別に控えておくこと。ただし、身分証明書の番号は暗記しているべきである。

## 13-3 火災、風水害、地震

### (1) 一般的災害発生状況

火災、風害は少ないが、水害と地震により時折被害が出る。多くの死傷者や孤児、未亡人などを残し世界的に有名になったアルメロ埋没事件は、火山による土石流が原因であった。

14年前には当国南部のポパヤンで地震による建物倒壊があった。ナスカ・プレート活況が検知されているので、地震の起こる可能性は今後も大きい。また、雨季の大降雨による局地的な泥流被害の例は多く、たとえ高地の都市でも住居の選定には十分注意が必要である。

## (2) 防災対策

最近の高層建築は耐震構造になっているが、構造的なひびが見うけられる建物に住むのは避けるべきである。地震が起こったときに大きな被害になる可能性が大きい。

泥水流は、地形の関係からいつも定まった場所で起こる。先住の人々に話を聞くとよい。

## (3) 被災時の心得

街中には煉瓦塀が多く、これが最も危険である。地震の際には崩れ落ちた煉瓦やコンクリートの破片で頭を打つ可能性が高い。従って驚いて屋外に出るのは危険である。屋外にいる場合は直ちに避難すること。

また、天井のモルタルが落ちることもあるので、大きな机の下に入るのがよい。

こうした場合に備えて、食料品は多少備蓄しておくように心がけること。

## 14. 出入国手続および帰国手続

### 14-1 入国時

#### (1) 空港施設概要

国内に国際飛行場が6ヶ所あり、ボゴタにはエルドラード空港とプエンテ・アエレオ (Avianca=アビアンカ航空専用) 空港の2ヶ所がある。

#### (2) 入国手続書類

入国に際し、外貨持込み申請書を提出する必要はない。

#### (3) 入国審査

日本・コロンビア両国の双務協定に基づいて、観光旅行者は最大90日までビザは不要である。ただしJICA関係者は業務のため、コロンビア領事館でビザをもらう必要がある。

入国審査で入国スタンプを押してもらったら日付が入っているかを確認すること。

また、合冊の旧パスポートや、とんでもないところにスタンプを押されないよう自分でも注意することが肝要である。

#### (4) 税関検査

パスポートの提示を求められる。公用旅券所持者でも時に荷物の検査がある。

植物は絶対持ち込めない。新しい電化製品は、販売目的と判断され課税の対象になる可能性がある。大量の土産物が華美な包装で入っていると、目をつけられるので注意すること。

税関員に英語のわかる人は少ない。込み入った説明を必要とする、商品見本や大量の技術講習の教材などを持ち込む場合は、あらかじめコロンビア側のパートナーに交渉を依頼しておくこと。荷物は航空会社が発行した荷物カードと照合したうえで持ち出し許可が出されるので、カードは絶対に紛失しないこと。

#### (5) 空港内での留意点

空港内は盗難事件が多発しているため、荷物から常時目を離さぬこと。知人のふりをして話しかけてくる人もいるので、友人・知人でない限りはとりあわずに歩くこと。

必要に応じて多少のペソは空港内の両替所で換えておくこと。

#### (6) 空港からの主な交通手段

車体には飛行機のシルエットを抜いたタクシーは、空港―市内間専用である。現在、ボゴタ市内まで10,000ペソくらいである。メデジン、カリまでは距離が遠いのでこれよりも高い。タクシー乗り場の窓口で行き先を告げると、料金を記した紙をくれるので、それをもとに支払う。

身軽な出張ならば、Taxi Colectivo (タクシー・コレクティーボ) で市内まで行って乗り換えてもよい。行き先について、外国人はよく、Cl. (Calle=カジェ) と Cra. (Carrera=カレラ) をとりちがえるので十分注意すること (Cra. は K と書くこともある)。

#### (7) その他の留意点

公用旅券所持者は、空港内の Inmigracion (インミグレーション) の捺印後、大使館から当国外務省に対して居住のための手続が行なわれる。一般旅券所持者は到着後48時間以内に治安当局の外人部 (DAS-Extranjeria=ダス―エストラネリア) に出頭し登録する義務があり、身分証明書の発行を申請する。

外国人居住者は、コロンビア人と結婚している人でない限り、出国許可および入国届の手続きには本人が出頭しなければならない。



銀行口座を持っていれば、その銀行系のクレジットカードを要請できる。ただし、ダイナース・クラブは独立である。当国では個人小切手を信用してくれないが、クレジットカードは信用調査も簡単なので、カードを見せると小切手も受け取ってくれる。

ダイナースのほか VISA、マスターカード、アメックス、カルタ・ブランカなどがある。

#### 14-2 出国時

##### (1) 出国時の概要

所得税を完済して、完済証明 (Paz y Salvo=パス・イ・サルボ) をもらう。もし未払い分が生じたら、本人に代わって支払うという保証人の念書を添え、はじめて D A S の出国許可がとれる。

旅行の1日前に D A S に出国許可を願い出る。D A S はこのとき身分証明書 (Cedula=セドゥラ) を預かり、引き換えに許可証をくれる。

出国の際、空港 (陸路出国の際は国境線) で Inmigracion 官吏にこの許可証を渡し、自分のパスポートに捺印してもらう。これらの事務所は 8:00~18:00 までしか開いていないので、そのつもりで旅行の日程を組むこと。

インディオの歴史的出土品は持ち出し禁止である。

##### (2) 出国手続上の留意点

滞在期間が1ヶ月以内であれば空港税 20 ドルのみを、1ヶ月以上であれば空港税のほかに出国税として 18 ドルを支払わなければならない。これらは相当する金額をペソで支払ってもよい。

#### 14-3 帰国手続

##### (1) 帰国時に必要な事務手続

前項を参照のこと。

##### (2) 車の処分

売却広告を新聞に出すか、中古車販売店に委託する。

##### (3) 家財道具の処分

新聞広告を出し、一定の日にはガレージセールを行なう。ただし、大勢の人が同時に入らぬよう警備員と共同でコントロールするほうがよい。

日常使うものでなければ、早くから予約売りしてしまう。

##### (4) 住宅の明け渡し

通常の契約では2ヶ月前までに家主に明け渡しを通告する。それが不可能な場合は次の月の分も支払う。賃貸契約を結んだときに目録 (Inventario=インベントリオ) を渡されていれば、立会いのうえ照合して元と同じ状況にして鍵とともに返却する。

##### (5) 外貨持出し規制

外貨の持出しは規制されていない。銀行口座を閉鎖するにあたって、自分が切って渡した小切手で、まだ銀行から支払われていないものを出入金明細表 (Extracto=エストラクト) で調べ、小切手を現金にしている相手には電話で督促する。その後、銀行あてに口座を閉鎖する旨の通知状を出し、1枚を残して小切手帳を返還すると同時に残額をこの1枚で引き出す。

## 15. 私財の輸送、引き取り、購入

### 15-1 家財道具

#### (1) 輸送業者

帰国の際はマイアミまで空輸して、その後船便という方法が多い。

#### (2) 輸入手続

日本での輸入手続は、日本の乙仲業者に依頼する。当国での輸入手続きは、公用旅券所持者の場合、家財道具は本人が税関に申告するだけでよい。家財道具以外の場合は JET-CARGO 社のような税関エージェントを通し、輸入申告書を作成、外務省と税関の承認、および銀行の免税証明を得て、保税倉庫から引き出すことができる。

一般旅券所持者の場合は、家財道具は税関に申告し、規定の税金を支払って引き出すことになる。家財道具以外の品は、関税局で輸入申告用紙 (360 ペソ) を購入し、それに必要事項を記入し税関に提出する。その後、銀行で規定の税金を支払って、引き出すことになる。

#### (3) 輸入荷物の受取り港

該当情報なし。

#### (4) 家財道具の購入

家財道具の種類は多く日本とくらべて安価である。

### 15-2 自動車

#### (1) 一般状況

マツダの乗用車や三菱・トヨタの四輪駆動などがノックダウン方式により生産されていると同時に、ホンダ、スバル、ダイハツなど同様に日本からも輸入されている。また、ルノーおよびシボレーが現地生産されているほか、さまざまな車がヨーロッパ、ブラジルなどから輸入されている。

#### (2) 輸入手続

日本で使っていた車の輸入は可能であるが、関税は FOB 新車価格の 35% がかけられる。さらに日本の車は右ハンドルであり、当地では使いにくいことを考慮しなくてはならない。

#### (3) 任国での購入

公用旅券所持者が免税手続きを行って購入する場合には、手続開始から入手まで 3 ヶ月前後かかる。その際、免許証、輸入申告書、船荷証券などの書類が必要である。また入手した車には強制と任意の 2 種類の保険をかけなければならない。

#### (4) 自動車登録

免税手続で購入した場合、ナンバー・プレートは外務省から支給される。その他の場合では販売店が手続きを代行してくれる。

#### (5) 免許証取得

国際免許証のある人は、それを健康証明書や手数料とともに交通局 (DATT=Departamento Administrativo de Transito y Transporte=デパルタメント・アドミニストラティー ボ・デ・トランシト・イ・トランスポルテ) に提出して、コロンビア免許に書き換える。なお、コロンビア免許は中南米一帯で国際的に通用する。

公用旅券所持者は日本の免許証を血液型の証明書とともに外務省に提出し、同省から免許証を支給される。

## (6) 保険、税金

対第三者損害賠償保険は義務制である。このほか任意保険があり、これには加入しておいたほうがよい。加入すると、必ず駐車場に入れることが義務づけられる。高率な盗難保険は除外する人が多い。盗難保険では、盗難にあった車の見積額の70%まで支払ってくれる。

自動車税は交通違反罰金の未払い分とともに毎年支払う。遠く離れた地方で登録した車を買うと、税の支払いの度に旅行しなくてはならない。

## 16. 社交

### 16-1 風俗習慣

明朗闊達で民主的な気風であるが、社交活動では同じ階層の人同士がグループをつくっている。

近隣の人々とは、つかず離れずの関係を保つよう心がける。なかには、親しくなると人の好意につけこんで、「駄目もと」で利己的な要求をしてくる者もいるので、丁重に断ることも必要である。人は人、自分は自分という習慣もあり、職場の上司も、社交活動では対等な立場にあるのが原則であることを忘れるべきではない。

食事時間は社会階層によって異なる。例えば労務者・工員では朝が6:30、昼が12:00（弁当が多い）、夜が18:00というのが普通であるが、サラリーマンは8:00、13:00、19:00、高級官吏・経営者らは8:00、14:00、21:00にとるといった具合である。一回の食事に要する時間も後者にいくほど長くなる。

食事の内容は、低地（Tierra Caliente＝ティエラ・カリエンテ、暑熱地）では、多くの人が朝からステーキや米の入った食事をとっている（レストランやホテルでは軽い朝食をとることができる）。労務者、工員、学生らは、普通の三食のほかに、Once（オンセ）と称する間食をとる。その時刻は10:30頃と15:30頃で、工場などの小休憩もこれに合わせてある。サイダー、ソーダ水（低地）、コーヒー（高地）などとパン、エンパナーダ、プニユエロ（チーズ入りの揚げパン）、ベルリーナ、ドーナッツなどを楽しんでいる。

### 16-2 パーティーでの留意点

通常の家族間の招待は、簡素なものにして大げさにする必要はない。大人のパーティーには子供を同伴しないほうがよい。酒に酔っぱらうことと、激しい口論をすることはきわめて人格を下げる行為であると見なされているので気をつけること。

日本人だけで固まったまま終始しないようにし、主催者側もそれに気をつけるべきである。未知の客同士が同席したら直ぐに紹介する。

自分が訪問した場合、帰りには主人夫妻とその家族にはもちろん、できれば全員に挨拶をして失礼する。もし何かの理由で主人から引きとめられた時は、素直に従うほうがよい。

服装はヨーロッパのように格式ばらないが、あらかじめ電話でどのような服装をして行くべきかを尋ねても失礼ではない。

### 16-3 来客時の留意点

パーティーの場合、客が外套、手荷物などを持っていれば別室で預かる。先客のいるところに案内して一人一人に紹介する。その後、飲み物その他をすすめる。

### 16-4 訪問時の留意点

招待されて訪問する場合は、挨拶の後に飲み物の希望を聞かれる。用意してあるものならば、必ずしもアルコールではなくジュースやコーラ類を頼んでもかまわない。嫌いなものや分量の多いものは丁寧に断わること。また、スープやスパゲティを音をたてて食べるのは禁物である。

### 16-5 禁止されている言動

話しながら他人を指で指さないこと、人の話をさえぎらないことなどは常識である。質問をされたときには、No（ノー）かSi（シ）かを明白にいう必要がある。

17. 任国官公庁

官公庁名	a) 住所	b) 電話	c) 執務時間
DAS (Departamento Administrativo de Seguridad) 大統領府保安局	a) Cr. 28 No.17A-00	b) 2779211、3600200	c) 7:30~17:00
DNP (Departamento Nacional de Planeacion) 企画庁	a) Cl. 26 No.13-19	b) 3361600	c) 8:30~12:30、14:00~18:00
STT (Secretaria de Transito y Transporte de Santafe de Bogota D.C.) ボゴタ市交通運輸局	a) Cr. 28A No.17A-20	b) 2778700	c) 7:30 ~16:00
Colciencias (Instituto Colombiano para el Desarrollo de la Ciencia y la Tecnologia Francisco Jose de Caldas) 科学技術振興庁	a) Transversal 9A No.133-28	b) 2169800、2166953	c) 8:00 ~17:00
INPA (Instituto Nacional de Pesca y Acuicultura) 水産庁	a) Diagonal 27 No.15-09	b) 3203866、2879190	c) 08:00 ~17:00
ICA (Instituto Colombiano Agropecuario) 農牧庁	a) Cl. 37 No.8-43	b) 2855520、2884800	c) 8:00~17:00
INS (Instituto Nacional de Salud) 保健庁	a) Avenida El Dorado - Cr. 50 (CAN)	b) 2220577	c) 8:00 ~17:00
ICONTEC (Instituto Colombiano de Normas Tecnicas y Certificacion) 工業技術院	a) Cr. 37 No.52-95	b) 3150377	c) 8:00 ~16:30
INGEOMINAS (Instituto de Investigaciones en Geociencias, Minería y Química) 地学鉱業化学研究所	a) Diagonal 53 No.34-53	b) 2221811	c) 8:00~17:00
INAT (Instituto Nacional de Adecuacion de Tierras) 土地改良庁	a) Cr. 5 No.15-80	b) 2860266	c) 8:00 ~17:00
ICETEX (Instituto Colombiano de Credito Educativo y Estudios Tecnicos en el Exterior) 海外技術留学基金	a) Cr. 3A No.18-24	b) 2865566	c) 9:00~16:00 (月~木)、9:00~15:00 (金)
INC (Instituto Nacional de Cancerologia) 国立癌研究所	a) Cl.1 No.9-85	b) 2800666	c) 8:00~16:45
Minrelaciones (Ministerio de Relaciones Exteriores) 外務省	a) Cl. 10 No.5-51	b) 2827811、2876800	c) 8:30~17:30
Alcaldia Mayor de Bogota ボゴタ市庁	a) Cr. 8 No.10-65	b) 2832600	c) 8:00~12:30、14:00 ~18:00
SENA (Servicio Nacional de Aprendizaje Regional Bogota y Cundinamarca) 職業訓練庁	a) Cr. 13 No.65-10	b) 2557266	c) 7:30~12:00、13:00 ~17:00

18. 在外日本関係機関など

機関名	a) 住所 b) 電話	執務時間
在コロンビア日本大使館	a) Cr. 7 No.71-21, Torre B, Piso 11 b) 3175001 (代表)	9:00~12:00、 14:00~17:00
在コロンビア日本国大使館付属日本人学校 (ボゴタ日本人学校)	a) Transversal 26 No.171-35 b) 6705130、6727861	7:50~12:05、 12:45~16:50
JICAコロンビア事務所	a) Cl. 72 No.10-07, Piso 7 b) 2103478、2103513、3450055	8:30~12:00、 13:30~17:00
日本貿易振興会	a) Cr. 16A No.78-65, Piso 4 b) 2564418、6111943	9:00~12:00、 14:00~17:00
日本輸出入銀行 アンデス駐在員事務所	a) Cl. 100 No.8A-55, Of.715 b) 6211828、6211878、6211845	8:30~12:30、 13:30~18:00

## 19. 地方都市

カリ市はボゴタの南西約460キロメートルの地点にあり、当国第三の都市である。同市は西アンデス山脈の東麓に広がる標高約1,000メートルの高原上にある。したがって、約2,600メートルの標高をもつ首都が冷涼（平均気温摂氏14度）なのに比べて、平均気温は摂氏24度と高い。日中は暑いですが空気が乾燥しているため過ごしやすい。

市の人口は約180万人（1993年の統計による）、住民の気質は陽気でお祭り騒ぎを好む。

町の中心部には高層ビルが立ち並び近代都市の容姿を見せているが、その周辺部には首都と同様、貧しい人たちの密集して住んでいる地区もあり、治安はよくない。

衣食住その他の点において、首都と格別に異なるということはない。

この町の下に広がる平野は当国屈指の農業地帯で、サトウキビ、綿、キビ、大豆、トウモロコシ、ヒマワリ、果実などの生産が盛んである。これには約60年前に第一回目の入植を行った日本人移住者およびその後継者たち（現在、日系人は約1千名を数える）も大いに貢献している。

同市から車で1時間半ほど北上したところに、先住民族であるカリマ族の名に因んで名付けられたカリマ湖があり、また標高200メートルから4,100メートルにわたり、15万ヘクタールの面積を占めて広がる自然公園ロス・ファラジョネスがある。ここでは、アンデス山脈の生む多様な風光を楽しむことができ、様々な動植物相が観察できる。なお、同公園のセンターおよびキャンプ場へはカリ市から車で1時間程のところにある。





## 任国情報をご利用の皆様へ

この任国情報は政府間技術協力のために開発途上国へ赴任する JICA 派遣専門家および JICA 役職員等が任国への入国および滞在するために必要とされる情報、とくに生活情報を提供するものです。

専門家および JICA 役職員等は、技術協力協定や要請文書などの国際約束により、税金の免除等一定の義務が免除されるなどの特別の条件が付与されています。

本情報は、これらの条件に基づいたものであることを、あらかじめご了解願います。

### -----アジア地域-----

1. バングラデシュ
2. ブータン
3. ブルネイ
4. カンボディア
5. 中華人民共和国
6. インド
7. インドネシア (ジャカルタ、バンドン、  
ジョグジャカルタ、メダン)
8. 大韓民国
9. ラオス
10. マレーシア
11. ミャンマー
12. ネパール
13. パキスタン
14. フィリピン
15. シンガポール
16. スリ・ランカ
17. タイ (バンコク、チェンマイ、コンケン)
18. ヴィエトナム
19. モンゴル

### -----中近東地域-----

1. アルジェリア
2. バハレーン
3. エジプト
4. イラン
5. ジョルダン
6. クウェイト
7. モロッコ
8. オマーン
9. カタル
10. サウディ・アラビア
11. スーダン
12. シリア
13. テュニジア
14. トルコ (アンカラ、イスタンブール)
15. アラブ首長国連邦 (ドバイ、アブダビ、アマン)
16. イエメン (サナア)

### -----太平洋地域-----

1. フィジー
2. キリバス
3. ミクロネシア
4. バラオ
5. パプア・ニューギニア
6. ソロモン諸島
7. ヴァヌアツ
8. 西サモア
9. トンガ
10. マーシャル諸島

### -----欧州地域-----

1. カザフスタン
2. キルギス
3. ポーランド
4. タジキスタン
5. トルクメニスタン
6. ウズベキスタン
7. ハンガリー
8. ブルガリア

### -----アフリカ地域-----

1. ベナン
2. ブルンディ
3. カメルーン
4. カーボ・ヴェルデ
5. コモロ
6. エチオピア
7. ガンビア
8. ガーナ
9. ギニア
10. ギニア・ビサオ
11. コートジボアール
12. ケニア
13. リベリア
14. マダガスカル (アンタナナリボ、アンチラナナ)
15. マラウイ
16. モーリシアス
17. モザンビーク
18. ニジェール
19. ナイジェリア
20. ルワンダ
21. サントメ・プリンシペ
22. セネガル
23. セイシェル
24. ソマリア
25. タンザニア (ダルエスサラーム、ザンジバル)
26. トーゴ
27. ザイール
28. ザンビア
29. ジンバブエ
30. スワジランド
31. ボツワナ
32. エリトリア

### -----中南米地域-----

1. アルゼンティン
2. ボリヴィア (ラ・パス、サンタクルス)
3. ブラジル (ブラジリア、サンパウロ、リオデジャネイロ、  
ポルトアレグレ、ベレーン)
4. チリ
5. コロンビア
6. コスタ・リカ
7. ドミニカ共和国
8. エクアドル
9. グレナダ
10. グアテマラ
11. ホンデュラス
12. メキシコ
13. パナマ
14. パラグアイ (アスンシオン、エンカルナシオン)
15. ペルー
16. セント・ルシア
17. トリニダード・トバゴ
18. ウルグアイ
19. ヴェネズエラ
20. ニカラグア



---

「任国情報（コロンビア）1997年版」

平成10年1月31日発行

編集・発行所 国際協力事業団 国際協力総合研修所

〒162 東京都新宿区市谷本村町10番5号

電話 (03)3269-2357

---





---

---